

総合保健体育科学センター年報

第33号

2010

名古屋大学総合保健体育科学センター

目 次

保健管理業務

1. 平成22年度の保健管理活動について	1
2. 学生の健康診断	4
1) 定期健康診断（春期）	5
a. 実施状況	5
b. 精密検査	6
2) 定期健康診断（秋期）	14
3) 特殊健康診断	14
I. 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生	15
II. 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生	19
3. 職員の健康診断	23
1) 一般定期健康診断	23
2) 特殊健康診断	27
3) 保健指導	28
4. 健康相談と応急処置（学生・職員）	34
5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務	38
6. 運動実施のためのメディカルチェック	40
7. 感染症検査	40
8. 平成22年度産業医名簿	41

保健体育の事業

1. 「健康への道」の発行	43
2. 総合保健体育科学センター主管の行事	44

「健康・スポーツ科学」の授業

1. ねらいと授業科目	45
2. 授業形態	45
3. 「講義」について	46
4. 「実習」について	46
5. 「実習」の非常勤講師	47

そ の 他

庶務関係事項	51
1) 人事異動	51
平成22年度 各種委員会委員名簿 (学内)	52
平成22年度 各種委員会委員名簿 (センター内)	54
2) 外国出張及び海外研修旅行	55
あ と が き	56

保 健 管 理 業 務

1. 平成22年度の保健管理活動について

主な保健管理活動は、大別すると、保健管理業務と健康教育である。

保健管理業務には、各種の健康診断、心身の健康相談、その他の業務がある。学生の健康診断については、健診項目は従来と同様であったが、今年度より学生の健康診断データをデジタル処理化とすることにした。昨年度までは、健診のデータをOCR方式でコンピュータへデータ入力をしてきたが、多大な労力と相当な経費を必要としていた。そこで、本年度から健診データをデジタル化した。当然、導入にあたり、多大な費用、労力を費やしたが、関係各位の御理解と御尽力により実施に辿りつくことができた。特に、保健管理室のスタッフには夜遅くまで携わっていただき、感謝に堪えない。1年生の定期健康診断を学部ガイダンスや教養教育院等のスケジュールにあわせ、4月下旬に授業時間を割いて行うようになったためか、受診率が以前に比べ若干低下傾向にある。今後一層、健康診断の日程や必要性を学生のみならず、割かれる授業担当教員にも周知徹底を図りたい。当然のことながら、学生に対しても特殊健康診断（RIを含めた有害物質）年4回行いつつ、留学生の健康診断（秋入学）、クラブ、サークルの健康診断、医学部学生のB型肝炎に関係する採血、ワクチン接種なども適宜実施し、必要に応じて健康指導を行った。

保健管理業務の中で健診に並んで重要なものは健康相談および応急処置業務である。身体健康分野は従来どおり5名の内科医師が診療を担当している。ただ、近藤孝晴教授の定年退職に伴い、総長管理定員（学内運用定員）1名分を返却したため、医師数の減少という危機に直面したが、関係各位のお力添えにより、1年任期ながら特任准教授ポストをいただき、大西丈二先生に着任していただいた。メンタルヘルス分野は、学生相談総合センターの精神科2名とあわせて3名が担当しているものの、受診希望者の増加に頭を痛めている。応急処置業務については、日常業務のほか、ホームカミングデイ、センター試験、入学試験などの救護班担当も保健管理室の業務である。さらに、結核のみならず、麻疹、百日咳などの感染症啓蒙活動に加え、昨年度と同様に新型インフルエンザ対策にも力を注いだ。なお、保健管理活動を担っている内科医師5名のうち3名、精神科医師3名のうち1名のみが常勤ポストであり、学内事情によってこれらが削減される危機に曝されている。万一、医師削減に至れば、これまでの業務の維持は困難極まりない状況となる。

もう一つの柱である健康教育は、全学教育の一環として、「健康・スポーツ科学」を担当し、身体・精神健康について主に講義を行い、保健、体育の各分野の必須内容については共通の冊子やCDを作成し、受講者へ便宜を図った。保健管理業務を担っている医師全員は医学系研究科健康増進医学講座（協力講座）にも属し、後進の育成に貢献している。

教職員の健康管理については安衛法の下で健康管理が行われている。これらは人事労務課福祉掛が立案し、事務的手続きは人事労務課および各部局の担当者が行い、健診業務の多くを外部委託としているものの、実務的運営と実施は保健管理室にある。また、産業医活動も東山キャンパスについて6名が産業医として登録され、毎月の巡視のほか、海外渡航前後の健診・保健指導や疾病管理面接等も随時行ってきた。

いずれにしても、学生に関しては学生支援課、教職員については人事労務課と密接な連携のもと、効率のよい的確な健康管理を行っていくべく努力したい。学内構成員の皆様には、保健管理室の現状と問題点をご理解いただき、さらなるご支援を切望するものである。

押 田 芳 治

保健管理室年間行事表（定期に行われるものに限る）

	行 事	内 容	対 象 者 等
4月	学生定期健康診断（春期） 医学生感染症の検査	胸部X線検査，尿検査，血圧検査，視力検査，身体測定， 会話域聴力，栄養状態，視診，問診，健康調査， 聴打診（1年生のみ） ワクチン接種，接種後血液検査	学部生，大学院生，研究生等 医学部医学科1年生
5月	学生定期健康診断の 再検査・精密検査 学生特殊健康診断 学生放射線取り扱い者の調査 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査	尿，胸部X線（診察），心臓，血圧，栄養，貧血，甲状腺， 肝臓等の検査 皮膚検査，眼の検査，血液検査 書類調査後，健康診断要・不要判定 接種前血液検査	定期健康診断の要再検査の学生， 要精密検査者および前年度要観察者以上の学生 R I 従事する学生（6月～7月新規従事者） R I 従事する学生（継続従事者） 医学部医学科3，4年生
6月	医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員一般（定期・特定）健康診断	第1回ワクチン接種 胸部X線検査，尿検査，血圧検査，視力検査，身体測定， 会話域聴力，問診 心電図検査，血液検査，腹囲測定 聴力検査（1000・4000Hz）	医学部医学科3，4年生 全職員 内35歳と40歳以上の職員 内35歳と40歳と45歳以上の職員
7月	職員一般(定期・特定)健康診断 学生特殊健康診断 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員特殊健康診断	6月一般健康診断に準ずる 皮膚検査，眼の検査，血液検査 第2回ワクチン接種 血液検査，皮膚検査，眼の検査 血液検査，皮膚検査，眼の検査，口腔検査，血圧検査， 尿検査，胸部X線検査	全職員 R I 従事する学生（8月～10月新規従事者）， R I 従事者の中，受診の指示があった学生 医学部医学科3，4年生 R I 従事者の中，受診の指示があった職員 有害業務に従事する職員
8月	職員一般健康診断の精密検査 オープンキャンパスの救護	胸部X線検査 必要に応じた応急処置	一般健康診断で検査対象となる職員， 前年度要観察以上の職員 学生，職員および一般来客者
9月	職員保健指導	保健指導	一般健康診断後指導対象となる職員
10月	学生特殊健康診断 ホームカミングディの救護 学生定期健康診断の精密検査	皮膚検査，眼の検査，血液検査 書類調査後の各検査（血液，尿，皮膚，眼，視診等） 必要に応じた応急処置 胸部X線検査	R I 従事する学生（11月～12月新規従事者） 有害物質等に従事する学生 学生，職員および一般来客者 定期健康診断（4月）の要観察D2以上の学生
11月	学生定期健康診断（秋期） 学生定期健康診断の再検査 学生定期健康診断（春期未受診者）	学生定期健康診断に同じ 胸部X線検査（診察），尿検査 学生定期健康診断に同じ	後期（10月）入学生，5月以降来日した留学生 定期健康診断（秋期）の要再検の学生 定期健康診断（4月）未受診の学部1年生， 特殊健康診断対象学生
12月	学生特殊健康診断 職員一般（定期・特定）健康診断 職員特殊健康診断	皮膚検査，眼の検査，血液検査 職員一般（定期・特定）健康診断に同じ 職員特殊健康診断に同じ	R I 従事する学生（1月～6月新規従事者） 特定業務に従事する職員，7月未受診の職員 R I 従事者の中，受診の指示があった職員， 有害業務に従事する職員
1月	センター試験救護 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員一般健康診断の精密検査	必要に応じた応急処置 第3回ワクチン接種 胸部X線検査	センター試験受験者 医学部医学科3，4年生 一般健康診断で検査対象となる職員， 要観察以上の職員
2月	大学入学試験救護 医学生B型肝炎ワクチン接種等の検査 職員保健指導	必要に応じた応急処置 接種後血液検査 保健指導	大学入学試験受験者 医学部医学科3，4年生 一般健康診断後指導対象となる職員
3月	学生定期健康診断 学生定期健康診断の精密検査	4月の定期に準ずる 4月の定期，5月の精密検査に準ずる	医学部学生（次年度対象者） 定期健康診断の要観察以上の学生 （次年度対象者）
年次	職員の雇入時健康診断および 海外派遣労働者健康診断 職員の長時間労働者への面談 職員の復職者面談 職員健康診断後の相談 生活指導 大学院入試の救護 スポーツのためのメディカルチェック	胸部X線検査，尿検査，血圧検査，視力検査，身体測定， 腹囲測定，聴力検査（1000・4000Hz），心電図検査， 血液検査，診察 診察，問診および指導 診察 診察 経過観察（必要に応じた診察・検査） 必要に応じた応急処置 必要に応じた健康診断	採用予定者 6ヶ月以上の海外出張の職員 職員 職員 健康診断結果で相談したい職員 定期健康診断で要観察以上の学生 大学院入学試験受験者 体育会運動部（大学公認サークル）加入学生

（注）健康相談，応急処置，精神相談は年中実施

健康管理対象者数の年次推移

年度	学 生 数 (女子：内数)			健康診断 受検者数		健康診断 受診率	一般健康相談者数 (学生)		精神衛生相談者数 (学生・職員合計)	
S 50	8,539		100.0%	5,707	100.0%	66.8%	1,298	100.0%	271	100.0%
S 55	8,876	(1,131)	103.9%	6,748	118.2%	76.0%	2,325	179.1%	162	59.8%
S 60	9,637	(1,711)	112.9%	7,038	123.3%	73.0%	3,338	257.2%	204	75.3%
H 1	11,411	(2,311)	133.6%	8,128	142.4%	71.2%	3,054	235.3%	242	89.3%
H 2	11,789	(2,431)	138.1%	8,718	152.8%	74.0%	2,441	188.1%	221	81.5%
H 3	12,183	(2,581)	142.7%	9,270	162.4%	76.1%	2,422	186.6%	313	115.5%
H 4	12,691	(2,761)	148.6%	9,842	172.5%	77.6%	3,128	241.0%	415	153.1%
H 5	13,302	(3,101)	155.8%	10,648	186.6%	80.0%	2,763	212.9%	406	149.8%
H 6	13,712	(3,273)	160.6%	11,459	200.8%	83.6%	2,595	199.9%	425	156.8%
H 7	14,388	(2,909)	168.5%	12,063	211.4%	83.8%	2,473	190.5%	434	160.1%
H 8	14,752	(3,043)	172.8%	12,140	212.7%	82.3%	2,890	222.7%	483	178.2%
H 9	14,996	(3,135)	175.6%	11,570	202.7%	77.2%	2,875	221.5%	579	213.7%
H10	15,157	(3,413)	177.5%	11,216	196.5%	74.0%	2,753	212.1%	718	264.9%
H11	15,414	(3,775)	180.5%	10,937	191.6%	71.0%	2,477	190.8%	860	317.3%
H12	15,554	(4,135)	182.2%	11,214	196.5%	72.1%	2,654	204.5%	945	348.7%
H13	15,760	(4,394)	184.6%	11,591	203.1%	73.5%	2,500	192.6%	1,462	539.5%
H14	15,741	(4,578)	184.3%	11,195	196.2%	71.1%	2,686	206.9%	1,820	671.6%
H15	15,784	(4,679)	184.8%	11,287	197.8%	71.5%	2,687	207.0%	1,900	701.1%
H16	15,811	(4,681)	185.2%	11,598	203.2%	73.4%	2,033	156.6%	1,942	716.6%

年度	学 生 数 (女子：内数)			健康診断 受検者数		健康診断 受診率	一般健康相談者数 (学生・職員)		精神衛生相談者数 (学生・職員合計)	
H17	15,844	(4,663)	185.5%	11,159	195.5%	70.4%	2,147	165.4%	2,170	800.7%
H18	15,894	(4,718)	186.1%	11,295	197.9%	71.1%	2,735	210.7%	2,450	904.1%
H19	15,794	(4,742)	185.0%	11,368	199.2%	72.0%	2,212	170.4%	2,278	840.6%
H20	15,682	(4,718)	183.7%	11,594	203.2%	73.9%	2,307	177.6%	2,251	830.6%
H21	15,689	(4,784)	183.7%	11,412	200.0%	72.7%	2,175	167.6%	2,418	892.3%
H22	15,854	(4,823)	185.7%	11,758	206.0%	74.2%	2,211	170.3%	2,659	981.2%

学生数および健康診断数：5月1日現在（研究生含まず）
 一般健康相談は平成17年度までは学生のみ以下職員を含む

2. 学生の健康診断

平成22年度 学生の健康診断実施表

定期健康診断（春期）							
	検査項目	検査内容	受診対象者	実施時期			
一 次 健 診	1	視力検査・会話域聴力	—視力計，問診	学部学生 大学院学生 研究生等	医学科5～6年生， M2，D2～D4 保健学科2～4年生， M2，D2，D3 3月1日（月） 2日（火）		
	2	尿検査（蛋白・潜血・糖）					
	3	胸部X線検査 ※1	—直接（間接）撮影				
	4	身体計測（身長・体重）					
	5	血圧検査	—血圧測定				
	6	栄養（肥満・るい瘦）	—BMI法				
	7	貧血・肝臓・甲状腺検査	—視診・触診				
	8	健康（自覚症状）個人調査	—調査書			※（新入生・医学生・希望者）	1年生
	9	心音検査 ※2	—聴診			※2（学部1年生のみ）	4月26日（月） ～28日（水）
再 ・ 精 密 検 査	1	尿検査（蛋白・潜血・糖）	*—血液・尿検査	一次健診で要精検となった者 要精検となった者	4月30日（金） ～5月31日（月）		
	2	胸部X線検査	*—診察（直接撮影）※3				
	3	血圧検査	—血液・心電図				
	4	栄養（肥満・るい瘦）	*—血液・体脂肪				
	5	貧血・肝臓・甲状腺検査	*—血液			*（前年度健康診断の結果 指導区分D-2以上の者 も加える）	
	6	心音検査	*—心電図			※3 第2回目	
	7	健康個人調査	—面接				10月下旬
定期健康診断（秋期）							
項 目	1 定期健康診断（春期）と同じ		10月入学生（4月時在籍者除く）	11月1日（月）			
			5月以降来日した留学生	2日（火）			
			4月健診未受診の学部新1年生	11月4日（木）			
特殊健康診断（定期健康診断を必ず受診すること）							
検 査 項 目	1	血液の検査	—血算	放射性同位元素等を取り扱う実験・ 実習に従事する者	1. 5/6～5/11 2. 7/1～7/2 3. 10/18～10/19 4. 12/7～12/8		
	2	皮膚の検査	—皮膚科医の診察				
	3	眼の検査	—眼科医の診察（白内障）				
	4	問診	—健康診断に関する調査書				
目	1	有害物質取扱調査	—取扱に関する調査書	有害物質等を取り扱う実験・実習 に従事する者	10/18～10/19		
	2	検査	—診察（眼・皮膚・内科） 血液・尿				

* 特殊健康診断は定期健康診断を受けてない方は受診できません。（今年度は未受検者に秋にも健診を受けるようにしています）

1) 定期健康診断 (春期)

a. 実施状況 (表1)

定期健康診断の実施項目は、昨年度と同様、感染症と生活習慣病に重点を置いたもので、肺結核だけでなく、心、腎、肝疾患、高血圧、内分泌代謝疾患（糖尿病、肥満、るい瘦、甲状腺腫）および貧血と多岐にわたっている。健診の実施場所は従来と同様、保健管理室である。一次健診とその精密検査が4、5月に行われた。受診者全員が健診終了時に医師から直接説明を受け、後にその結果票を受け取るシステムになっている。なお、一次健診により再検査を実施した結果は各項目を参照されたい。

外国人留学生の受け入れに伴う健康診断は、4月、10月の2回実施し、一般学生と同様の健診を実施した。

平成22年度 定期健康診断 受診結果

学部・研究科	対象者数 (5.1 在籍者)			受診者数			受診率 %	対象外 (非正規生)	
	学部	研究科	計	学部	研究科	計		研究生	受診数
文学部・文学研究科	598	300	898	494	148	642	71.5	76	28
教育学部・教育発達科学研究科	327	239	566	269	112	381	67.3	65	22
法学部・法学研究科	689	158	847	493	89	582	68.7	158	23
経済学部・経済学研究科	922	158	1,080	659	89	748	69.3	27	12
情報文化学部	348		348	268		268	77.0	24	16
理学部・理学研究科	1,197	554	1,751	974	476	1,450	82.8	21	7
医学部・医学系研究科 医学	629	694	1,323	393	179	572	43.2	99	2
保健学	890	194	1,084	818	93	911	84.0	0	0
工学部・工学研究科	3,349	1,612	4,961	2,585	1,417	4,002	80.7	87	36
農学部・生命農学研究科	751	441	1,192	621	361	982	82.4	19	6
国際開発研究科		273	273		146	146	53.5	30	17
人間情報学研究科		2	2		0	0	0.0	—	—
多元数理科学研究科		158	158		116	116	73.4	3	0
国際言語文化研究科		228	228		152	152	66.7	52	33
環境学研究科		548	548		409	409	74.6	13	3
情報科学研究科		375	375		297	297	79.2	26	7
法科大学院・専門職学位課程		220	220		100	100	45.5	—	—
留学生センター								49	41
その他								5	0
合計	9,700	6,154	15,854	7,574	4,184	11,758	74.2	754	253

b. 精密検査

胸部X線検査：直接撮影を実施した。第1回（春期）で異常を疑われた学生および前年度からの要観察者（D-2以上）を対象に診察を実施した。

第2回（秋期）では異常を疑われた学生については診察を行った。春期の検査にて要観察（年2回受診）と判定した学生に対しては直接撮影を実施し、要医療（医療機関に通院中）の学生については診察を行った。

尿 検 査：尿検査機器にて蛋白・潜血・糖の項目を検査し、複合試験紙を用い再検査し、さらに陽性の学生に精密検査を行った。

一次検査・再検査で蛋白・潜血・糖それぞれが「+」以上の学生を陽性とした。

血 圧 検 査：自動血圧計を用い座位で測定し、収縮期血圧（SBP）140mmHg以上もしくは拡張期血圧（DBP）90mmHg以上（2回）を再検査対象としている。再検査（5分間安静）し、自動血圧計で測定。さらに高い学生に水銀血圧計を使用し聴診法、仰臥位でSBP160mmHg以上もしくはDBP95mmHg以上に精密検査を行った。

心 臓 検 査：原則として学部新1年生に心音検査を行い心雑音等が聴取された学生に対して心電図検査を行った。また従来からの要観察者（D-2以上）、胸部X線検査で心精検と判定された学生に対しても同様に心電図検査を実施した。

栄 養：BMI（Body Mass Index, 体重(kg) ÷ [身長(m)]²）が15以下をるい瘦・30以上を肥満とし希望した学生に精密検査を行った。ただし学部1年生の肥満対象者は必須とした。

問診、視診および触診で貧血・甲状腺・肝臓疾患の疑いのある学生に精密検査を行った。

項目	再 検 査		精 密 検 査 内 容	
	内 容	結 果		
尿	蛋白・潜血	陽 性	検 尿	沈査
	糖	陽 性	採 血	空腹時血糖・グリコヘモグロビンA1c
血 圧	座位・自動血圧計 ↓ 仰臥位・水銀血圧計	SBP160以上 もしくは DBP95以上	心電図	

項目	精 密 検 査 内 容	
肥 満	計 測	体脂肪率（インピーダンス法）、腹囲測定（臍の高さ）
	採 血	総コレステロール、HDLコレステロール、LDLコレステロール、中性脂肪、GOT、GPT、 γ -GTP、尿酸、インスリン、空腹時血糖 （ただし新規でこの検査を受診する学生はグリコヘモグロビンA1cも）
るい瘦	採 血	診察後の指示
貧 血	採 血	赤血球、白血球、Hb、Ht、PLT、血液像
甲状腺	採 血	診察後の指示
肝 臓	採 血	総ビリルビン、GOT、GPT、ALP、LDH、HBs抗原、HCV抗体

判定区分は以下のように生活規制，医療の両面を考慮して決定した。

判 定 区 分

1. 生活規制面からの区分

記 号

- A. (要休業) 授業を休む必要のあるもの
- B. (要軽業) 授業に制限を加える必要のあるもの
- C. (要注意) 授業をほぼ平常に行ってよいもの
- D. (健康) 全く正常の生活でよいもの

2. 医療面からの区分

記 号

- 1. (要医療) 医師による直接の医療行為を必要とするもの
- 2. (要観察) 医師による直接の医療行為を必要としないが，定期的に医師の観察指導を必要とするもの
- 3. (健康) 医師による直接，間接の医療行為を全く必要としないもの

注：学校保健安全法施行規則別表第一による。

再検査，精密検査を受けた結果，生活指導を要する者については，医師が直接指導した。

平成22年度 胸部X線 精密検査結果

学部・研究科	有所見 判定数	第 1 回						心 精 へ	第 2 回						心 精 へ
		対象 者数	判 定 区 分				未 受 検		対象 者数	判 定 区 分				未 受 検	
			D-3	D-2	D-1	A-1				D-3	D-2	D-1	A-1		
文 学 部	10	5	1	2	1	1		0							
文 学 研 究 科	5	1	1					0							
教 育 学 部	9	1	1				1	0							
教育発達科学研究科	7	3		2			1	0							
法 学 部	13	1	1					0							
法 学 研 究 科	2	2		1			1	1			1				
経 済 学 部	15	1		1				0							
経済学研究科	1	1			1			0							
情報文化学部	8	1			1			2							
理 学 部	20	6		4	1	1		0							
理学研究科	14	5		4	1			1		1					
医学部	8	3		2			1	0							
保健学科	15	7	1	4	2		1	2		1			1		
医学系研究科	1	3		3			1	0							
保健学専攻	2	2	1	1				0							
工 学 部	39	18	2	12	3		1	2	2			1		1	
工学研究科	34	15	2	11	2			3	4		3	1			
農 学 部	9	0						1	0						
生命農学研究科	10	3		1	1		1	0							
国際開発研究科	2	2	2					1	0						
人間情報学研究科		0							0						
多元数理科学研究科	0	0							1		1				
国際言語文化研究科	8	1			1				0						
環境学研究科	12	3	1	1			1		0						
情報科学研究科	9	0						1	0						
法・専門職学位課程	6	3	2	1					0						
そ の 他	2	0							1		1				
学 部	146	43	6	25	8	1	3	8	4	0	1	1	0	2	0
研 究 科	115	44	9	25	6	0	4	7	8	0	6	2	0	0	0
合 計	261	87	15	50	14	1	7	15	12	0	7	3	0	2	0

第2回「D1」は経過を確認した者である

平成22年度 蛋白 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査 の 判 定 区 分				備 考
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D-3	D-2	D-1	未受検	
文 学 部	10	10							
文 学 研 究 科	3	1	1	1	1				
教 育 学 部	7	4	1	2			1		
教育発達科学研究科	2	1		1					
法 学 部	15	12	1	2		1			
法 学 研 究 科	0								
経 済 学 部	26	23	3		2		1		
経 済 学 研 究 科	2	2							
情 報 文 化 学 部	9	6	1	2		1			
理 学 部	34	23	3	8		1	2		
理 学 研 究 科	5	4	1			1			
医 学 部	8	8							
医学系研究科	12	7	3	2	1	1	1		
医学系研究科	0								
工学部	86	63	9	14	1	5	3		
工 学 研 究 科	29	21	4	4	1	1	2		
農 学 部	23	15	2	6	1		1		
生命農学研究科	6	4	1	1		1			
国際開発研究科	2	2							
人間情報学研究科	0								
多元数理科学研究科	0								
国際言語文化研究科	2	2							
環 境 学 研 究 科	8	4	1	3		1			
情 報 科 学 研 究 科	13	9	4		1	1	2		
法・専門職学位課程	1			1					
そ の 他	0								
計	230	171	23	36	5	9	9	0	
研 究 科	73	50	12	11	3	5	4	0	
合 計	303	221	35	47	8	14	13	0	

平成22年度 潜血 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査 の 判 定 区 分				備 考
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D-3	D-2	D-1	未受検	
文 学 部	6	5		1					
文 学 研 究 科	6	2	1	3		1			
教 育 学 部	8	5	1	2			1		
教育発達科学研究科	3	1	1	1		1			
法 学 部	7	4	3			3			
法 学 研 究 科	2			2					
経 済 学 部	10	7	2	1		1	1		
経 済 学 研 究 科	1	1							
情 報 文 化 学 部	4	2	2		1		1		
理 学 部	4	3	1				1		
理 学 研 究 科	5	4	1			1			
医 学 部	5	4	1		1				
医学系研究科	3	3	3		1	1	1		
医学系研究科	2	2							
工学部	18	6	8	4		5	3		
工 学 研 究 科	12	5	5	2	1	2	2		
農 学 部	5	3	2			2			
生命農学研究科	4	3	1			1			
国際開発研究科	4	2	1	1		1			
人間情報学研究科	0								
多元数理科学研究科	0								
国際言語文化研究科	5	5							
環 境 学 研 究 科	9	3	3	3	1	2			
情 報 科 学 研 究 科	5	1	4		1	1	2		
法・専門職学位課程	2		1	1		1			
そ の 他	1	1							
計	70	39	23	8	3	12	8	0	
研 究 科	63	32	18	13	3	11	4	0	
合 計	133	71	41	21	6	23	12	0	

平成22年度 糖 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査 の 判 定 区 分				備 考	
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D-3	D-2	D-1	未受検		
文 学 部	4	3	1		1					
文 学 研 究 科	1	1								
教 育 学 部	2	2								
教育発達科学研究科	1			1						
法 学 部	2	2								
法 学 研 究 科	0									
経 済 学 部	1		1		1					
経 済 学 研 究 科	1	1								
情 報 文 化 学 部	3	1		2						
理 学 部	6	4	1	1	1					
理 学 研 究 科	1	1								
医 学 部	1	1								
	保健学科	2	2							
医学系研究科	2	2								
	保健学専攻	0								
工 学 部	8	5	1	2			1			
工 学 研 究 科	5	4	1			1				
農 学 部	1	1								
生 命 農 学 研 究 科	1	1								
国 際 開 発 研 究 科	1		1				1			
人 間 情 報 学 研 究 科	0									
多 元 数 理 学 研 究 科	0									
国 際 言 語 文 化 研 究 科	1	1								
環 境 学 研 究 科	2	1		1						
情 報 学 研 究 科	3	3								
法・専門職学位課程	1			1						
そ の 他	0									
計	学 部	30	21	4	5	3	0	1	0	
	研 究 科	20	15	2	3	0	1	1	0	
合 計		50	36	6	8	3	1	2	0	

平成22年度 血圧 再検査・精密検査結果

学部・研究科	再 検 査				精 密 検 査 の 判 定 区 分				備 考	
	対象者数	異常なし	要精検	未受検	D-3	D-2	D-1	未受検		
文 学 部	1	1								
文 学 研 究 科	2	1		1						
教 育 学 部	0									
教育発達科学研究科	0									
法 学 部	2	2								
法 学 研 究 科	1	1								
経 済 学 部	0									
経 済 学 研 究 科	0									
情 報 文 化 学 部	0									
理 学 部	2	2								
理 学 研 究 科	3	3								
医 学 部	0									
	保健学科	1	1							
医学系研究科	4	1		3						
	保健学専攻	1	1							
工 学 部	12	12								
工 学 研 究 科	8	8								
農 学 部	0									
生 命 農 学 研 究 科	1	1								
国 際 開 発 研 究 科	1	1								
人 間 情 報 学 研 究 科	0									
多 元 数 理 学 研 究 科	1	1								
国 際 言 語 文 化 研 究 科	1		1				1		(治療中)	
環 境 学 研 究 科	2	2								
情 報 学 研 究 科	3	3								
法・専門職学位課程	1	1								
そ の 他	0									
計	学 部	18	18	0	0	0	0	0	0	
	研 究 科	29	24	1	4	0	0	1	0	
合 計		47	42	1	4	0	0	1	0	

平成22年度 心臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	3	1		1	1	
文学研究科	0					
教育学部	2	2				
教育発達科学研究科	1			1		
法学部	1			1		
法学研究科	0					
経済学部	3		1	2		
経済学研究科	0					
情報文化学部	2	2				
理学部	3			3		
理学研究科	0					
医学部	医学科	4	3	1		
	保健学科	5	2	3		
医学系研究科	医学専攻	1			1	
	保健学専攻	0				
工学部	10	5	4	1		
工学研究科	6	2	4			
農学部	4	2	2			
生命農学研究科	0					
国際開発研究科	1	1				
人間情報学研究科	0					
多元数理科学研究科	0					
国際言語文化研究科	0					
環境学研究科	0					
情報科学研究科	1	1				
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
計	学部	37	17	7	12	1
	研究科	10	4	4	1	1
合計	47	21	11	13	2	

平成22年度 肥満 (BMI 30 以上) 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	2		2			
文学研究科	4	1	1		2	
教育学部	3	1	1		1	
教育発達科学研究科	2				2	
法学部	6		3		3	
法学研究科	1				1	
経済学部	2		1		1	
経済学研究科	1		1			
情報文化学部	0					
理学部	13	2	9	1	1	
理学研究科	5		4		1	
医学部	医学科	7	2		5	
	保健学科	7	4		3	
医学系研究科	医学専攻	4	2		2	
	保健学専攻	0				
工学部	22	3	18		1	
工学研究科	17	3	11		3	
農学部	2		1	1		
生命農学研究科	3		2		1	
国際開発研究科	4	1	1		2	
人間情報学研究科	0					
多元数理科学研究科	4	1	1		2	
国際言語文化研究科	2	1	1			
環境学研究科	5	1	2		2	
情報科学研究科	2		2			
法・専門職学位課程	2		2			
その他	2		2			
計	学部	64	6	41	2	15
	研究科	58	8	32	0	18
合計	122	14	73	2	33	

平成22年度 るい瘦 (BMI 15以下) 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考	
		D-3	D-2	D-1			
文学部	0						
文学研究科	0						
教育学部	0						
教育発達科学研究科	0						
法学部	0						
法学研究科	0						
経済学部	1				1		
経済学研究科	0						
情報文化学部	0						
理学部	1	1					
理学研究科	0						
医学部	医学科	1			1		
	保健学科	2			2		
医学系研究科	医学専攻	0					
	保健学専攻	0					
工学部	2	1			1		
工学研究科	0						
農学部	0						
生命農学研究科	0						
国際開発研究科	0						
人間情報学研究科	0						
多元数理科学研究科	0						
国際言語文化研究科	0						
環境学研究科	0						
情報科学研究科	0						
法・専門職学位課程	0						
その他	0						
計	学部	7	2	0	0	5	
	研究科	0	0	0	0	0	
合計	7	2	0	0	5		

平成22年度 貧血 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考	
		D-3	D-2	D-1			
文学部	0						
文学研究科	0						
教育学部	0						
教育発達科学研究科	0						
法学部	1				1		
法学研究科	0						
経済学部	0						
経済学研究科	0						
情報文化学部	0						
理学部	1			1			
理学研究科	0						
医学部	医学科	0					
	保健学科	0					
医学系研究科	医学専攻	0					
	保健学専攻	0					
工学部	0						
工学研究科	0						
農学部	0						
生命農学研究科	1	1					
国際開発研究科	1	1					
人間情報学研究科	0						
多元数理科学研究科	0						
国際言語文化研究科	0						
環境学研究科	0						
情報科学研究科	0						
法・専門職学位課程	0						
その他	0						
計	学部	2	0	0	1	1	
	研究科	2	2	0	0	0	
合計	4	2	0	1	1		

平成22年度 甲状腺 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	0					
文学研究科	0					
教育学部	0					
教育発達科学研究科	0					
法学部	0					
法学研究科	0					
経済学部	0					
経済学研究科	0					
情報文化学部	0					
理学部	0					
理学研究科	0					
医学部	0					
保健学科	0					
医学系研究科	0					
医学専攻	0					
保健学専攻	0					
工学部	0					
工学研究科	0					
農学部	0					
生命農学研究科	0					
国際開発研究科	0					
人間情報学研究科	0					
多元数理科学研究科	0					
国際言語文化研究科	0					
環境学研究科	0					
情報科学研究科	0					
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
計	0	0	0	0	0	
学部	0	0	0	0	0	
研究科	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	

平成22年度 肝臓 精密検査結果

学部・研究科	対象者数	判定区分			未受検	備考
		D-3	D-2	D-1		
文学部	0					
文学研究科	0					
教育学部	0					
教育発達科学研究科	0					
法学部	0					
法学研究科	0					
経済学部	0					
経済学研究科	0					
情報文化学部	0					
理学部	0					
理学研究科	0					
医学部	0					
保健学科	0					
医学系研究科	0					
医学専攻	0					
保健学専攻	0					
工学部	0					
工学研究科	0					
農学部	0					
生命農学研究科	0					
国際開発研究科	0					
人間情報学研究科	0					
多元数理科学研究科	0					
国際言語文化研究科	0					
環境学研究科	0					
情報科学研究科	0					
法・専門職学位課程	0					
その他	0					
計	0	0	0	0	0	
学部	0	0	0	0	0	
研究科	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	

2) 定期健康診断（秋期）

5月以降に渡日した留学生および後期入学生（4月末現在で名古屋大学に籍のあった学生は除く）に対して、10月に健康診断を実施している。健診項目は4月の定期健康診断と同じである。

また、学部1年生および特殊健康診断対象者で今年度4月の健康診断時、未受診の学生が相当数いたため実施した。

平成22年度 定期健康診断 受診結果

学部・研究科	後期入学生・留学生					4月健診未受診者				22年度 受診率 (正規生)
	正規生		受診率 %	対象外(非正規生)		受診者数			対象外 (内数)	
	対象者数	受診者数		対象者数	受診者数	1年生	特殊	他院		
文学部・文学研究科	1	1	100.0	38	34			1	(0)	71.6
教育学部・教育発達科学研究科				14	8			2	(2)	67.3
法学部・法学研究科	16	6	37.5	45	34	2		6	(2)	68.8
経済学部・経済学研究科				22	18	4		3	(3)	69.6
情報文化学部				6	3	2		1	(1)	77.6
理学部・理学研究科	6	6	100.0	15	5	1	10	9	(0)	84.0
医学部・医学系研究科 医学	18	14	77.8	19	6		5	29	(0)	46.2
保健学				6	2		23	17	(1)	87.6
工学部・工学研究科	28	20	71.4	52	40	3	26	16	(4)	81.4
農学部・生命農学研究科	3	1	33.3	10	7		10	4	(4)	83.1
国際開発研究科	8	6	75.0	23	10	—		14	(11)	55.2
人間情報学研究科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0.0
多元数理科学研究科	4	4	100.0	0	0	—			(0)	74.1
国際言語文化研究科				24	18	—		2	(2)	66.7
環境学研究科	17	12	70.6	18	17	—	2	3	(0)	75.4
情報科学研究科	6	1	16.7	6	5	—	1	2	(0)	79.0
法科大学院・専門職学位課程	—	—	—			—		1	(0)	45.9
留学生センター	—	—	—	31	30	—			(0)	—
その他	—	—	—	1	0	—		1	(1)	—
合計	107	71	66.4	330	237	12	77	111	31	75.2

*対象者の内55名は春期にも当大学の学生

*以下 学部・研究科は略し、対象外は含まず。

例：理学部・理学研究科 → 理学部 etc

3) 特殊健康診断

本健診は放射線（表2）あるいは有害物質を取り扱う（表3，4）学生に対して行うものである。健診項目および健診結果を表に示した。

I. 放射線同位元素等を取り扱う実験・実習に従事する学生

平成22年度 放射線従事学生状況および検査結果

1. 皮膚検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 および 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
文 学 部	0	0	0	0	0	0	0				0
理 学 部	417	126	3	6	125	1	261	255	6		678
医 学 部・医	79	39	7	2	1	3	52	52			131
医 学 部・保	64	87	1	0	41	0	129	129			193
工 学 部	502	253	27	7	43	3	333	331	2		835
農 学 部	77	34	6	3	46	2	91	90	1		168
環 境	20	13	4	1	0	0	18	18			38
情 文・情 科	0	0	0	0	0	0	0				0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0				0
合 計	1,159	552	48	19	256	9	884	875	9	0	2,043

2. 眼の検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 および 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
文 学 部	0	0	0	0	0	0	0				0
理 学 部	416	126	4	6	125	1	262	261	1		678
医 学 部・医	79	39	7	2	1	3	52	52			131
医 学 部・保	64	87	1	0	41	0	129	128	1		193
工 学 部	500	253	29	7	43	3	335	333	2		835
農 学 部	77	34	6	3	46	2	91	91			168
環 境	20	13	4	1	0	0	18	18			38
情 文・情 科	0	0	0	0	0	0	0				0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0				0
合 計	1,156	552	51	19	256	9	887	883	4	0	2,043

3. 血液検査

学部・研究科	継続者 検査 不要	新規従事者 および 要観察者						受検者の検査結果			合計
		第1回	第2回	第3回	第4回	他機関	計	異常 なし	D-2 要観察	D-1 要医療	
文 学 部	0	0	0	0	0	0	0				0
理 学 部	417	126	3	6	125	1	261	260	1		678
医 学 部・医	79	39	7	2	1	3	52	52			131
医 学 部・保	64	87	1	0	41	0	129	127	2		193
工 学 部	500	253	29	7	43	3	335	333	2		835
農 学 部	77	34	6	3	46	2	91	88	3		168
環 境	20	13	4	1	0	0	18	18			38
情 文・情 科	0	0	0	0	0	0	0				0
そ の 他	0	0	0	0	0	0	0				0
合 計	1,157	552	50	19	256	9	886	878	8	0	2,043

放射線を取り扱う学生の特殊健康診断実施要領

名古屋大学において放射線業務（R I、放射線発生装置、X線発生装置等を用いた実習、実験、診療等）を行う学生（学部生、大学院生、研究生等）は以下に従い、「特殊健康診断」を受けなければならない。

対象者区分

1. 新規従事者

1) 新たに放射線業務を行う者：

問診および検査（血液、皮膚、眼の検査）が必須である。その後の健康診断は、継続従事者に準じて実施する。

2. 継続従事者

1) 継続して放射線業務を行う者：

一年を超えない期間ごとに問診を必ず受け、必要に応じて検査（血液、皮膚、眼の検査）を受けなくてはならない。

2) 放射線業務あるいは従事者登録の期間にブランクがある者（過去に R I を取り扱ったがその後放射線作業をせず放射線従事者としての登録をしていない者、海外留学などで放射線業務に中断期間がある者等）：

放射線業務を始める前に問診を必ず受け、必要に応じて検査（血液、皮膚、眼の検査）を受けなくてはならない。所属部局の放射線取扱主任者は中断期間等について被ばく歴等の調査、判定を行う。

放射線業務従事者特別健康診断問診受検票（以下、問診受検票という）

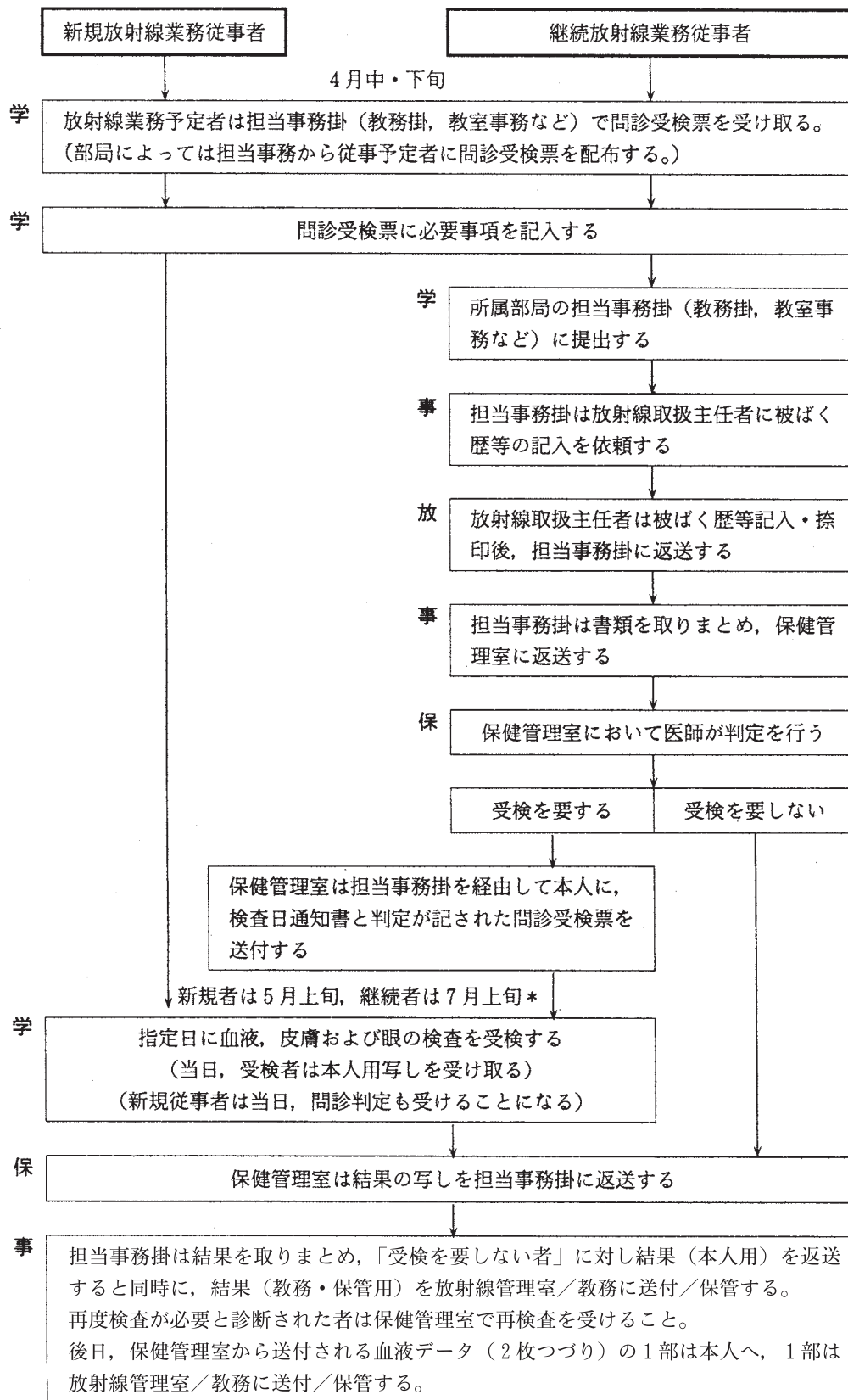
1. 本人用、教務掛・放射線管理室用、保健管理室用の三枚複写になっている。
2. 年度当初に保健管理室から各部局教務掛に配布されたものを「手続きの流れ」に沿って処理する。

その他

1. 名古屋大学保健管理室での血液検査は採血日をもって検査完了とみなす。但し、後日保健管理室から送付される血液検査データ（2枚つづり）を、教務掛は一部を本人に配布するとともに一部を保管または放射線管理室に送付する。
2. 健康診断結果（問診受検票および血液検査データ）は本人保管を原則とする。本人は放射線管理室からの依頼に応じてその写しを提出する義務がある。提出のない場合は放射線業務従事者としての登録ができない。
3. 急な R I 業務開始や予定外の R I 業務等で特殊健康診断を受ける必要がある場合、年間健診予定日に関し保健管理室に確認し、他施設で受診する。そのうえで、保健管理室で判定をうける必要がある。その場合、結果は6ヵ月以内のものを有効とする。
4. 放射線取扱主任者、保健管理室長に被ばく予想量が5 mSv 以下であっても必要に応じて検査を勧告できる。また本人も検査を希望・受診することができる。
5. 妊娠中、妊娠の可能性のある女子従事者は放射線取扱主任者にその旨照会する。

特殊健康診断の手続きの流れ【学生】

各枠外に主たる作業者を 学：学生，事：事務掛，放：主任者，保：保健管理室 で示した。



*：特殊健康診断予定期間はここに示した時期を含め年4回設けられている。

放射線業務従事者特殊健康診断問診受検票 (略：問診受検票)

本人用

折り曲げ厳禁

要保管

放射線を扱う業務に必要です。この用紙及び血液結果のある方はその用紙も必ず保管してください。

平成〔 〕年度		学生	
学 生 番 号		記 入 年 月 日	年 月 日
フリガナ		性 別	男 ・ 女
氏 名		生 年 月 日	年 月 日生
学 部 研究科	学 科 専攻	コ ー ス (B ・ M ・ D) 研 究 室 年	*所属学部・所属大学の変更 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (前所属：)
電話又は内線番号			

★従事者記入欄：この欄は従事者自身が記入してください。該当区分にチェックし、必要事項も記入してください。

対象区分調査	<input type="checkbox"/> 新従事者	初めて放射線業務に従事予定の者 (放射線業務に従事予定で、以前に放射線業務従事者登録をしたことがない者) ※指定された日時に、この用紙を持参して特殊健康診断を受けてください。 (該当者はチェック) <input type="checkbox"/> 本年度の初回特殊健康診断開催前に放射線業務に従事するために、前年度末の特殊健康診断を受診済みの者 <small>※継続従事者と同手続きとします。この用紙に前回の受検票の写しを添付し、指定の期日までに、所定の事務担当者に提出してください。</small>
	<input type="checkbox"/> 従事者続者	以前から放射線業務に従事している者 ※指定日までに、この用紙を所定の事務担当者に提出してください。
I] 本年度春期定期健康診断： <input type="checkbox"/> 受 診 <input type="checkbox"/> 未受診		
II] 業務内容調査：		
① 業務予定内容：		
<input type="checkbox"/> 非密封 R I の取扱い <input type="checkbox"/> 密封 R I の取扱い <input type="checkbox"/> 加速器の取扱い <input type="checkbox"/> エックス線装置の取扱い		
<input type="checkbox"/> 核燃料物質の取扱い <input type="checkbox"/> 管理区域への立ち入り <input type="checkbox"/> その他 (具体的に：)		
② 業務予定場所：		
<input type="checkbox"/> 所属部局内 <input type="checkbox"/> 大学内 (具体的に：) <input type="checkbox"/> 他の事業所 (具体的に：)		
継続従事者は以下も記入		
③ 前の業務場所：		
<input type="checkbox"/> 本年度と同じ <input type="checkbox"/> 異なる (具体的に：)		
④ 業務内容の変更、従事時間数の増加、その他の理由による被曝線量の増加が見込まれますか？		
<input type="checkbox"/> 被曝線量減少又は同程度の予定 <input type="checkbox"/> 被曝線量増加予定 (線量予想、原因：)		
III] 自覚症状調査：放射線業務に関連して、身体に関して心配事がありましたら記入してください。		
<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (具体的に：)		

★主任者記入欄 (継続従事者のみ)：この欄は放射線取扱主任者が記入します。

前年度の特殊健康診断(検査)受検状況 (全てでない場合、検査項目に○をつける)	いずれかにチェック
<input type="checkbox"/> 受検済み <input type="checkbox"/> 受検不要 <input type="checkbox"/> 未受検 (皮膚・眼・血液) (皮膚・眼・血液) (皮膚・眼・血液)	<input type="checkbox"/> 前年度従事している <input type="checkbox"/> 本年度より従事 <input type="checkbox"/> 以前従事：平成 年 月 ~ 平成 年 月
前年度の (前回特殊健康診断後) 被曝線量	過去の被曝歴 (特記事項欄に作業の場所、内容、期間、線量、放射線障害の有無、自覚症状の有無その他放射線による被曝の状況を記入)
実効線量 水 晶 体 皮 膚 女子腹部	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある
<input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> 検出限界未満 <input type="checkbox"/> 検出限界未満	特記事項
<input type="checkbox"/> mSv <input type="checkbox"/> mSv <input type="checkbox"/> mSv <input type="checkbox"/> mSv	
<input type="checkbox"/> 前回の特殊健康診断後従事歴なし (前回特殊健康診断 年度)	
本年度の被曝予測：5mSvを超えるおそれが	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある
上記のとおりであることを認めます。	
平成 年 月 日 放射線取扱主任者 _____ 印	

★保健管理室記入欄：この欄は保健管理室が記入します。

問診項目の結果より、本年度の特殊健康診断については			
	新規従事者	継続従事者	実施場所
皮膚検査	<input type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他 ()
眼の検査	上記と同じ	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他 ()
血液検査	上記と同じ	<input type="checkbox"/> 必要でない <input type="checkbox"/> 必要である	名大保健管理室 他 ()
			結果及び講じた措置
			<input type="checkbox"/> 異常なし <input type="checkbox"/> 要 観 察 <input type="checkbox"/> 要 医 療 平成 年 月 日 医師名 印
			検査結果 (別紙) は後日報告 平成 年 月 日 医師名 印
			平成 年 月 日 保健管理室長 押 田 芳 治 印

*血液検査必須項目：赤血球数、血色素量又はヘマトクリット値、白血球数、白血球百分率

II. 有害物質を取り扱う実験・実習に従事する学生

平成22年度 有害物質等従事学生の調査および検査結果

調査結果

学部・研究科	有害物質取扱者	健康診断対象者	受診者
理 学 部	353	163	130
医学部・医 学	26	9	9
医学部・保健学	19	5	5
工 学 部	646	344	271
農 学 部	239	86	76
環境学研究科	22	13	10
情報文化・情報科学	7	1	0
合 計	1,312	621	501

※対象者は、物質の取扱が週1回以上の学生および自覚症状のある学生

健康診断結果

検査	学部・研究科	受検者	受 検 者 の 結 果			
			異常なし	要観察	要医療	未受検
内 科	理	130	130			
	医	9	9			
	保健	5	5			
	工	271	270	1		
	農	76	76			
	環境	10	10			
	情報	0	0			
	計	501	500	1	0	0
皮 膚	理	130	126	4		
	医	9	8	1		
	保健	5	5	0		
	工	271	253	18		
	農	76	66	10		
	環境	10	9	1		
	情報	0	0	0		
	計	501	467	34	0	0
眼	理	1	1			
	医	0				
	保健	0				
	工	0				
	農	0				
	環境	0				
	情報	0				
	計	1	1	0	0	0
血 液	理	58	57	1		
	医	0				
	保健	2	2			
	工	110	105	4		1
	農	27	26	1		
	環境	3	3			
	情報	0				
	計	200	193	6	0	1
尿	理	1	1			
	医	0				
	保健	0				
	工	8	8			
	農	0				
	環境	1	1			
	情報	0				
	計	10	10	0	0	0

表 3

平成 年度 有害物質取扱状況調査票（学生）

※太枠内をボールペンで力を入れて記入してください。

学部		学科	
研究科		専攻	
学生番号			年
フリガナ			
氏名			

定期健康診断 受診状況
1. 受診
2. 未受診

調査票記入後 提出指定日までに 所属学部・教務掛へ 提出してください

この調査は実験・実習・研究等で取り扱う有害物質による健康状態の把握のために行います。
調査票を確認後、健康診断が必要な場合には「特殊健康診断受検票」を渡します。
健康診断は10月中旬を予定していますので必ず受診してください。

1. 取り扱った物質の項目に○を付けて、特に週1回（年間50日）以上取り扱った物質項目には◎を付けてください。

01	有機	二硫化炭素	32	有機	スチレン
02	有機	アセトン	33	有機	1・1・2・2-テトラクロロエタン
03	有機	イソブチルアルコール	34	有機	テトラクロロエチレン
04	有機	イソプロピルアルコール	35	有機	テトラヒドロフラン
05	有機	イソペンチルアルコール	36	有機	1, 1, 1-トリクロロエタン
06	有機	エチルエーテル	37	有機	トリクロロエチレン
07	有機	エチレングリコールモノエチルエーテル	38	有機	トルエン
08	有機	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	39	有機	ノルマルヘキサン
09	有機	エチレングリコールモノブチルエーテル	40	有機	1-ブタノール
10	有機	エチレングリコールモノメチルエーテル	41	有機	2-ブタノール
11	有機	オルト-ジクロロベンゼン	42	有機	メタノール
12	有機	キシレン	43	有機	メチルイソブチルケトン
13	有機	クレゾール	44	有機	メチルエチルケトン
14	有機	クロロベンゼン	45	有機	メチルシクロヘキサノール
15	有機	クロロホルム	46	有機	メチルシクロヘキサノン
16	有機	酢酸イソブチル	47	有機	メチルブチルケトン
17	有機	酢酸イソプロピル	48	有機	ガンリン
18	有機	酢酸イソペンチル	49	有機	コールタールナフサ
19	有機	酢酸エチル	50	有機	石油エーテル
20	有機	酢酸ブチル	51	有機	石油ナフサ
21	有機	酢酸プロピル	52	有機	石油ベンジン
22	有機	酢酸ペンチル	53	有機	テレピン油
23	有機	酢酸メチル	54	有機	ミネラルスピリット
24	有機	四塩化炭素	55	有機	鉛・鉛化合物等を取り扱う実験・実習等
25	有機	シクロヘキサノール	56	特化	クロム酸及びその塩
26	有機	シクロヘキサノン	57	特化	砒素及びその他化合物[アルシン及び砒化ガリウム除]
27	有機	1, 4-ジオキサン	58	特化	ベリリウム及びその化合物
28	有機	1, 2-ジクロロエタン	59	特化	ペータープロピオラクトン
29	有機	1, 2-ジクロロエチレン	60	特化	ベンゼン
30	有機	ジクロロメタン	61	特化	ニトログリコール
31	有機	N, N-ジメチルホルムアミド	62	特化	塩化ビニル

*裏面もご記入ください。

表 3

63	特化	3・3`ジクロロ-4・4`ジアミノジフェニルメタン	89	特化	臭化メチル
64	特化	ベンジジン及びその塩	90	特化	重クロム酸及びその塩
65	特化	四-アミノジフェニル及びその塩	91	特化	水銀及びその無機化合物
66	特化	四-ニトロジフェニル及びその塩	92	特化	トリレンジイソシアネート
67	特化	ビス[クロロメチル]エーテル	93	特化	ニッケルカルボニル
68	特化	ペーターナフチルアミン及びその塩	94	特化	パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン
69	特化	ジクロルベンジジン及びその塩	95	特化	パラ-ニトロクロルベンゼン
70	特化	アルファーナフチルアミン及びその塩	96	特化	弗化水素
71	特化	塩素化ビフェニル[PCB]	97	特化	ペンタクロルフェノール及びそのナトリウム塩
72	特化	オルトトリジン及びその塩	98	特化	マゼンタ
73	特化	ジアニジン及びその塩	99	特化	マンガン及びその化合物
74	特化	ベンゾトリクロリド	100	特化	沃化メチル
75	特化	アクリルアミド	101	特化	硫化水素
76	特化	アクリロニトリル	102	特化	硫酸ジメチル
77	特化	アルキル水銀化合物	103	特化	ニッケル化合物 [ニッケルカルボニルを除く]
78	特化	エチレンイミン	104	歯科	塩酸
79	特化	塩素	105	歯科	硝酸
80	特化	オーラミン	106	歯科	硫酸
81	特化	オルト-フタロジニトリル	107	歯科	亜硫酸
82	特化	カドミウム及びその化合物	108	歯科	弗化水素
83	特化	クロロメチルメチルエーテル	109	歯科	黄燐
84	特化	五酸化バナジウム	110	じん肺	常時粉じん状態の所での実験・実習等
85	特化	コールタール	111	その他：上記項目以外で使用した物質等がありましたら記入してください ()	
86	特化	シアン化カリウム			
87	特化	シアン化水素			
88	特化	シアン化ナトリウム			

2. 有害物質取り扱い時の体調の変化については受検票の「5」にご記入ください。

3. 職員の健康診断

1) 一般定期健康診断

職員の健康診断は人事労務課福祉掛が計画を立案，統括している。

定期健康診断の実施状況，実施要項は別表の通りである。二次健診（再検査，精密検査）も実施している。必要に応じて外部機関への受診をすすめ，紹介等を行っている。

職員一般定期健康診断実施状況

検査項目	対象人員	実施時期(月)
胸部 X 線 間接撮影検査	約 5,300人	7 (12)
同上 直接撮影検査	約 300	8・1
尿 検 査	約 5,300	7 (12)
血 圧 検 査	約 5,300	7 (12)
肝 臓 機 能 検 査	約 4,100	7 (12)
脂 質 検 査		
貧 血 検 査		
糖 質 検 査	約 3,000	7 (12)
心 電 図 検 査		
腹 囲 測 定	約 2,400	7 (12)
聴 力 検 査 (1000 / 4000Hz)		

() 書きは7月受診できなかった者

職員一般定期健康診断実施要領

検査項目	実施回数	対象者
胸部 X 線 間接撮影検査	年1回	全 職 員 ただし，前年度検査においてD-2以上の判定を受けた職員を除く
同上 直接撮影検査	年1・2回	同上検査にて要精検と判定された職員及び前年度検査においてD-2以上の判定を受けた職員
尿 検 査	年1回	全職員
血 圧 検 査		
身長体重・視力検査		
肝 臓 機 能 検 査	年1回	35歳及び40歳以上の職員
脂 質 検 査		
貧 血 検 査		
糖 質 検 査		
心 電 図 検 査	年1回	35歳・40歳及び45歳以上の職員
腹 囲 測 定		
聴 力 検 査 (1000 / 4000Hz)	年1回	35歳・40歳及び45歳以上の職員

職員がん検診実施要領

検査項目	実施回数	対象者
胃の X 線 間接撮影検査	5 月	40歳以上の職員で受検を希望する者
子宮が ん 検 査	9 月	30歳以上の女子職員で受検を希望する者
大腸がん検診（便潜血反応検査）	7 (12) 月	40歳以上の職員で受検を希望する者

平成22年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（胸部X線間接撮影）

	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
	東 山 地 区	2,993	1,882	1,111	62.9%	28	44	
	鶴 舞 地 区	2,164	1,919	245	88.7%	9	30	
	大 幸 地 区 他	101	71	30	70.3%	0	0	
	小 計	5,258	3,872	1,386	73.6%	37	74	
	人間ドック受検者		847					
	合 計	5,258	4,719	539	89.7%	37	74	

対象者には直接撮影指示の者も含まれる

平成22年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（尿：蛋白・糖・潜血）

回	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	2,993	1,665	1,328	55.6%	13	19	
	鶴 舞 地 区	2,164	1,860	304	86.0%	29	42	
	大 幸 地 区 他	101	62	39	61.4%	0	0	
	小 計	5,258	3,587	1,671	68.2%	42	61	
	人間ドック受検者（4～10月実施）		577					
	合 計	5,258	4,164			42	61	
※1	2 東 山 地 区 等	1,606	812	794	50.6%	8	10	
	鶴 舞 地 区 等	1,588	1,272	316	80.1%	6	32	
	小 計	3,194	2,084	1,110	65.2%	14	42	
	人間ドック受検者		270					
	合 計	3,194	2,354	840	73.7%	14	42	

※1 対象者は特定対象者及び定期健康診断未受検だった者を含む

平成22年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（血圧検査）

回	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
1	東 山 地 区	2,993	1,671	1,322	55.8%	99	374	
	鶴 舞 地 区	2,164	1,892	272	87.4%	73	319	
	大 幸 地 区 他	101	64	37	63.4%	8	24	
	小 計	5,258	3,627	1,631	69.0%	180	717	
	人間ドック受検者		577					
	合 計	5,258	4,204	1,054	80.0%	180	717	
※2	2 東 山 地 区 等	1,606	815	791	50.7%	51	220	
	鶴 舞 地 区 等	1,588	1,302	286	82.0%	49	209	
	小 計	3,194	2,117	1,077	66.3%	100	429	
	人間ドック受検者		270					
	合 計	3,194	2,387	807	74.7%	100	429	

※2 対象者は特定対象者及び定期健康診断未受検だった者を含む

平成22年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（血液検査）

	部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
	東 山 地 区	2,214	1,380	834	62.3%	210	567	
	鶴 舞 地 区	1,770	1,639	131	92.6%	153	448	
	大 幸 地 区	84	59	25	70.2%	11	26	
	小 計	4,068	3,078	990	75.7%	374	1,041	
	人間ドック受検者		847					
	合 計	4,068	3,925	143	96.5%	374	1,041	

対象者は特定対象者（名大オリジナル）の者を含む

平成22年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（心電図検査）

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
東 山 地 区	1,952	1,134	818	58.1%	27	204	
鶴 舞 地 区	864	760	104	88.0%	17	94	
大 幸 地 区	86	53	33	61.6%	0	8	
小 計	2,902	1,947	955	67.1%	44	306	
人 間 ド ッ ク 受 検 者		847					
合 計	2,902	2,794	108	96.3%	44	306	

平成22年度 職員一般（定期・特定）健康診断実施結果（聴力：オーディオ検査）

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
東 山 地 区	1,608	800	808	49.8%	0	11	
鶴 舞 地 区	661	581	80	87.9%	0	6	
大 幸 地 区	71	49	22	69.0%	0	2	
小 計	2,340	1,430	910	61.1%	0	19	
人 間 ド ッ ク 受 検 者		847					
合 計	2,340	2,277	63	97.3%	0	19	

平成22年度 職員がん検診

※

部 局 名	対象者数	受検者数	未受検者数	受検率	要精検	有所見	備 考
胃 の 検 査	2,874	437	2,437	15.2%	26	58	
子 宮 が ん 検 査	1,994	610	1,384	30.6%	0	132	
便 潜 血 反 応 検 査	2,729	479	2,250	17.6%	29	29	

※対象者数は職員総数を含む

2) 特殊健康診断

本健診の実施計画およびその結果を表に示した。このうちVDT作業健康診断には、情報科学研究科宮尾克教授の協力を得た。

職員特殊健康診断実施計画

	検 査 項 目	実 施 時 期 (月)
1	血 液 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10)
2	血 液 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
3	皮 膚 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10)
4	皮 膚 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
5	眼 の 検 査 (R I 従 事 者)	7・12 (5・10)
6	眼 の 検 査 (有 害 業 務 従 事 者)	7・12
7	口 腔 検 査	7・12
8	血 圧 検 査	7・12
9	尿 検 査	7・12
10	胸部X線直接撮影検査	8・1
11	聴力及び平衡機能等検査	6・11
12	整形外科系検査 (上肢・肩・背部等)	2
13	心肺機能検査	6・11
14	VDT作業健康診断	2

() 書きは学生検査日受診可能

平成22年度 職員特殊健康診断実施結果 (特定有害業務：R Iを除く)

検 査 項 目	回数	対象者数	受検者数	受 検 率	備 考
心 肺 機 能 検 査	1	29	12	41.4%	
	2	31	11	35.5%	
耳 鼻 科 系 検 査	1	42	16	38.1%	
	2	43	15	34.9%	
眼 の 検 査	1	192	107	55.7%	
	2	138	45	32.6%	
口 く う 検 査	1	422	203	48.1%	
	2	421	196	46.6%	
血 液 検 査	1	一般(特定)検査に含まれる			
	2				
皮 膚 検 査	1	553	271	49.0%	
	2	495	212	42.8%	
整 形 外 科 系 検 査	1	1,079	815	75.5%	
V D T 検 査	1	1,697	382	22.5%	

* 尿検査及び血圧検査の1回目は一般定期健康診断実施結果に含まれる。

平成22年度 職員特殊定期健康診断実施結果（放射線（R I）業務）

検査項目	回数	対象者数	省略者数	受検者数	備考
血液検査	1	1,131	953	153	
	2	1,130	1,007	85	
皮膚検査	1	1,131	953	97	
	2	1,130	1,007	37	
眼の検査	1	1,131	953	99	
	2	1,130	1,007	37	

平成22年度 職員健康診断実施結果（胸部X線直接撮影）

検査項目	回数	対象者数	受検者数	受検率	備考
一般検査	1	76	58	76.3%	
	2	62	49	79.0%	
特殊検査（特定有害）	1	117	75	64.1%	
	2	72	41	56.9%	

他院等での受診報告を含む

3) 保健指導

一般健康診断のデータを基にして、40歳以上の職員を対象とする保健指導を始めた。動機付け支援レベル以上と判定された職員のうち希望者に対してのみ行った。保健管理室の保健師が一人一回30分ほどの時間をかけて指導を行った。

平成22年度 職員保健指導対象者状況

項目		1回目	2回目
メタボリックシンドローム判定		1,989	331
保健指導区分	積極的支援	95	36
	動機付け支援	130	33
	支援なし（治療中など）	1,418	217
対象外（40歳未満・75歳以上）		249	19
判定不能（ドック予定者・項目不足）		97	26

表 5

特定有害業務等従事状況届出票（新規）

所属

個人番号

氏名 殿 人事労務課福祉掛

提出年月日 通勤務時間数 生年月日

採用年月日 性別 職種

本年度の特殊健康診断等の受診対象者を確認するため、次に掲げる業務に従事する場合には、○を付して所属部局の人事担当掛に提出してください。

※石綿業務については、過去の取り扱い業務も含む。

	特定	㉗	有害物のガス[ホルムアルデヒド、エチレンオキシド]	有機	48	ガンリン
	特定	イ	高熱物体および、暑熱な場所における業務	有機	49	コーラターナフサ[ソルベントナフサを含む]
	特定	㉘	深夜業を含む業務	有機	50	石油エーテル
	特定	ロ	低温物質および、寒冷な場所における業務	有機	51	石油ナフサ
	特定	㉙	病原体によって汚染のおそれが著しい業務	有機	52	石油ベンジン
	給食	01	調理、配膳等給食のため食品を取り扱う業務	有機	53	テレピン油
	有機	01	アセトン	有機	54	ミネラルスピリット
	有機	02	イソブチルアルコール	有機	55	前各号に掲げる物のみから成る混合物
	有機	03	イソプロピルアルコール	鉛	01	鉛の製錬又は精錬を行う工程における業務
	有機	04	イソペンチルアルコール	鉛	02	銅又は亜鉛の製錬又は精錬を行う工程における業務
	有機	05	エチルエーテル	鉛	03	鉛蓄電池の部品を製造、修理、又は解体する工程の業務
	有機	06	エチレンジリコールモノエチルエーテル	鉛	04	電線又はケーブルを製造する工程における業務
	有機	07	エチレンジリコールモノエチルエーテルアセテート	鉛	05	鉛合金の製品を製造、修理、解体する工程の業務
	有機	08	エチレンジリコールモノブチルエーテル	鉛	06	鉛化合物を製造する工程における業務
	有機	09	エチレンジリコールモノメチルエーテル	鉛	07	鉛ライニングの業務[仕上げの業務を含む]
	有機	10	オルト-ジクロロベンゼン	鉛	08	含鉛塗料を塗布した物の加工又はかき落しの業務
	有機	11	キシレン	鉛	09	鉛装置の内部における業務
	有機	12	クロロホルム	鉛	10	鉛装置の破碎、溶接、溶断又は切断の業務
	有機	13	クロロベンゼン	鉛	11	転写紙を製造する工程における鉛等の粉払いの業務
	有機	14	クロロホルム	鉛	12	合成樹脂等の製品を製造する工程における業務
	有機	15	酢酸イソブチル	鉛	13	自然換気が不十分な場所におけるはんだ付けの業務
	有機	16	酢酸イソプロピル	鉛	14	鉛化合物を含有する釉薬の焼成の業務
	有機	17	酢酸イソペンチル	鉛	15	鉛化合物を含有する絵具の焼成の業務
	有機	18	酢酸エチル	鉛	16	溶融した鉛を用いて行なう業務
	有機	19	酢酸ノルマルブチル	鉛	17	動力を用いて印刷する工程における業務
	有機	20	酢酸ノルマルプロピル	鉛	18	前各号に掲げる業務を行なう作業場所清掃の業務
	有機	21	酢酸ノルマルペンチル	電離	10	医療用のX線装置
	有機	22	酢酸メチル	電離	11	工業用等のX線装置で撮影用のもの
	有機	23	四塩化炭素	電離	12	工業用等のX線装置で透視用のもの
	有機	24	シクロヘキサノール	電離	13	工業用等のX線装置で分析用のもの
	有機	25	シクロヘキサン	電離	14	工業用等のX線装置でその他のもの
	有機	26	1, 4-ジオキサン	電離	15	荷電粒子を加速する装置
	有機	27	1, 2-ジクロロエタン	電離	16	製造工程中のX線管
	有機	28	1, 2-ジクロロエチレン	電離	17	製造工程中のケトロン
	有機	29	ジクロロメタン	電離	18	医療用のガンマ線照射装置
	有機	30	N, N-ジメチルホルムアミド	電離	19	工業用等のガンマ線照射装置
	有機	31	スチレン	電離	20	ガンマ線照射装置以外の放射性物質を装備している機器
	有機	32	1・1・2・2-テトラクロロエタン	電離	21	放射性物質
	有機	33	テトラクロロエチレン	電離	22	原子炉
	有機	34	テトラヒドロフラン	電離	23	坑内におけるラドンガス
	有機	35	1, 1, 1-トリクロロエタン	特化	002	ベンジジン及びその塩
	有機	36	トリクロロエチレン	特化	003	四-アミノジフェニル及びその塩
	有機	37	トルエン	特化	004	四-ニトロジフェニル及びその塩
	有機	38	二硫化炭素	特化	005	ビス[クロロメチル]エーテル
	有機	39	ノルマルヘキサン	特化	006	ペーターナフチルアミン及びその塩
	有機	40	1-ブタノール	特化	101	ジクロロベンジジン及びその塩
	有機	41	2-ブタノール	特化	102	アルファーナフチルアミン及びその塩
	有機	42	メタノール	特化	103	塩酸化ビスフェニル[PCB]
	有機	43	メチルイソブチルケトン	特化	104	オルト-トリジン及びその塩
	有機	44	メチルエチルケトン	特化	105	ジアニシジン及びその塩
	有機	45	メチルシクロヘキサノール	特化	106	ベリリウム及びその化合物
	有機	46	メチルシクロヘキサン	特化	107	ペンソトリクロリド
	有機	47	メチルブチルケトン	特化	201	アクリルアミド

※該当がない場合は提出する必要はありません。

*裏面についても確認願います。

表 5

特定有害業務等従事状況届出票（新規）

所属
 個人番号
 氏名 殿 人事労務課福祉掛
 提出年月日 週勤務時間数 生年月日
 採用年月日 性別 職種

本年度の特殊健康診断等の受診対象者を確認するため、次に掲げる業務に従事する場合には、○を付して所属部局の人事担当掛に提出してください。

※石綿業務については、過去の取り扱い業務も含む。

特化	202	アクリロニトリル	じん肺	020	鉱物等を積載した車の荷台をくつがえしたりする作業
特化	203	アルキル水銀化合物	じん肺	030	鉱物等の分類や積み込み等の作業
特化	205	エチレンイミン	じん肺	040	坑内において鉱物等を運搬する作業
特化	206	塩化ビニル	じん肺	050	鉱物等を充てん、又は岩紛を散布する場所での作業
特化	207	塩素	じん肺	052	粉じんが付着した機械設備を移設、撤去、点検作業
特化	208	オーラミン	じん肺	060	岩石又は鉱物を裁断する場所における作業
特化	209	オルト-フタロジニトリル	じん肺	070	研磨材を吹き付けたりして研磨する作業
特化	210	カドミウム及びその化合物	じん肺	080	鉱物等を主成分とする原料を動力により破砕する作業
特化	211	クロム酸及びその塩	じん肺	090	セメント等を袋詰めし、積みおろす場所における作業
特化	212	クロロメチルメチルエーテル	じん肺	100	粉状のアルミニウム又は酸化チタンを袋詰めする作業
特化	213	五酸化バナジウム	じん肺	110	粉状の鉱石等を材料として製造する工程における作業
特化	214	コールタール	じん肺	120	ガラス又はほうろうを製造する工程における作業
特化	216	シアン化カリウム	じん肺	130	陶磁器等を製造する際の原材料を混合する工程の作業
特化	217	シアン化水素	じん肺	140	炭素製品を製造する工程における作業
特化	218	シアン化ナトリウム	じん肺	150	砂型を用いて鋳物を鋳造する工程における作業
特化	219	3・3'ジクロロ-4・4'ジアミノジフェニルメタン	じん肺	160	鉱物等運搬する船舶の船倉内で鉱物等をかき集める作業
特化	220	臭化メチル	じん肺	170	金属その他無機物を製錬し、熔融する工程における作業
特化	221	重クロム酸及びその塩	じん肺	180	粉状の鉱物を燃焼する工程における作業
特化	222	水銀及びその無機化合物	じん肺	190	耐火物を用いてかま、炉等を築造、破砕等する作業
特化	223	トリレンジイソシアネート	じん肺	200	タンク内等でのアーク溶接、又はガウジングする作業
特化	224	ニッケルカルボニル	じん肺	210	金属を溶射する場所における作業
特化	225	ニトログリコール	じん肺	220	染土の付着したい草を製織したりする場所における作業
特化	226	パラ-ジメチルアミノアゾベンゼン	じん肺	230	長大ずい道内部のホッパー等の近くの場所における作業
特化	227	パラ-ニトロクロロベンゼン	じん肺	240	石綿[直接ときほぐす、吹き付ける等の作業]
特化	228	弗化水素	石綿	01	アモサイト
特化	229	ペータープロピオラクトン	石綿	02	クロシドライト
特化	230	ベンゼン	石綿	10	石綿[アモサイト及びクロシドライトを除く]
特化	231	ペンタクロロフェノール及びそのナトリウム塩	石綿	20	石綿[粉じん発散場所での業務。前各号を除く。]
特化	232	マゼンタ	その他	01	紫外線・赤外線にさらされる業務
特化	233	マンガン及びその化合物	その他	02	著しい騒音を発生する屋内作業場などにおける騒音作業
特化	234	沃化メチル	その他	16	超音波接着機を取扱う業務
特化	235	硫化水素	その他	20	キーバンチャーの業務
特化	236	硫酸ジメチル	その他	23	チェーンソー使用による身体に著しい振動を与える業務
特化	237	ニッケル化合物[ニッケルカルボニルを除く]	その他	24	チェーンソー以外の振動工具の取扱いの業務
特化	238	砒素及びその他化合物[アルシン及び砒素ガリウム除]	その他	25	重量物取扱作業、介護作業等腰部に著しい負担の作業
高気圧	10	高圧室内業務	その他	29	VDT作業(週16時間以上従事又は自覚症状がある者)
高気圧	20	潜水業務			
四アルキル	01	四アルキル鉛を製造する業務			
四アルキル	02	四アルキル鉛をガソリンに混入する業務			
四アルキル	03	前2号に掲げる業務に用いる機械の業務			
四アルキル	04	四アルキル鉛により汚染されているタンクの内部の業務			
四アルキル	05	四アルキル鉛等を含有する残さい物を取り扱う業務			
四アルキル	06	四アルキル鉛が入っているドラム缶を取り扱う業務			
四アルキル	07	四アルキル鉛を用いて研究を行う業務			
四アルキル	08	四アルキル鉛の汚染を除去する業務			
歯科	1	塩酸			
歯科	2	硝酸			
歯科	3	硫酸			
歯科	4	亜硫酸			
歯科	5	弗化水素			
歯科	6	黄燐			
歯科	7	その他歯又は指示組織に有害な物			
じん肺	010	土石、岩石又は鉱物を掘削する場所における作業			

※該当がない場合は提出する必要はありません。

*裏面についても確認願います。

健康診断の流れ〔職員〕

- 1 初めて放射線業務を行う予定の者，放射線業務に従事している者は，4月上旬に調査される特定有害業務等従事状況届出票（別紙）の放射線業務欄（電離10～23）に記入しておく。
人事労務課は，特定有害業務等従事状況届出票により放射線業務従事者に対して，「問診票」を各部局の衛生管理担当者を通して配付する。【5月下旬】【10月中旬】
- ↓
- 2 放射線従事者は，配付された「問診票」に記入の上，各部局の衛生管理担当者へ送付する。各部局の担当者は，「問診票」に放射線取扱主任者による被ばく歴評価（押印）後，人事労務課へ報告する。（ただし，初めて放射線業務に従事する新規従事者は放射線取扱主任者の確認を必要としない。）【5月下旬】【10月下旬】
- ↓
- 3 各部局の衛生管理担当者は，記載事項を確認のうえ「問診票」を人事労務課まで送付する。
【5月末】【10月末】
- ↓
- 4 人事労務課は「問診票」の判定を保健管理室長に依頼し，その判定結果を各部局の衛生管理担当者に通知し，同「問診票」を，各部局の衛生管理担当者とR I 管理室が保管するとともに，衛生管理担当者は「問診票」の（写）を本人に送付する。【6月中旬】【11月下旬】
- ↓
- 5 健康診断実施通知書を配付する。【6月下旬】【11月下旬】
- ↓
- 6 検査（血液，皮膚，眼，定期健康診断）の実施【7月】【12月】

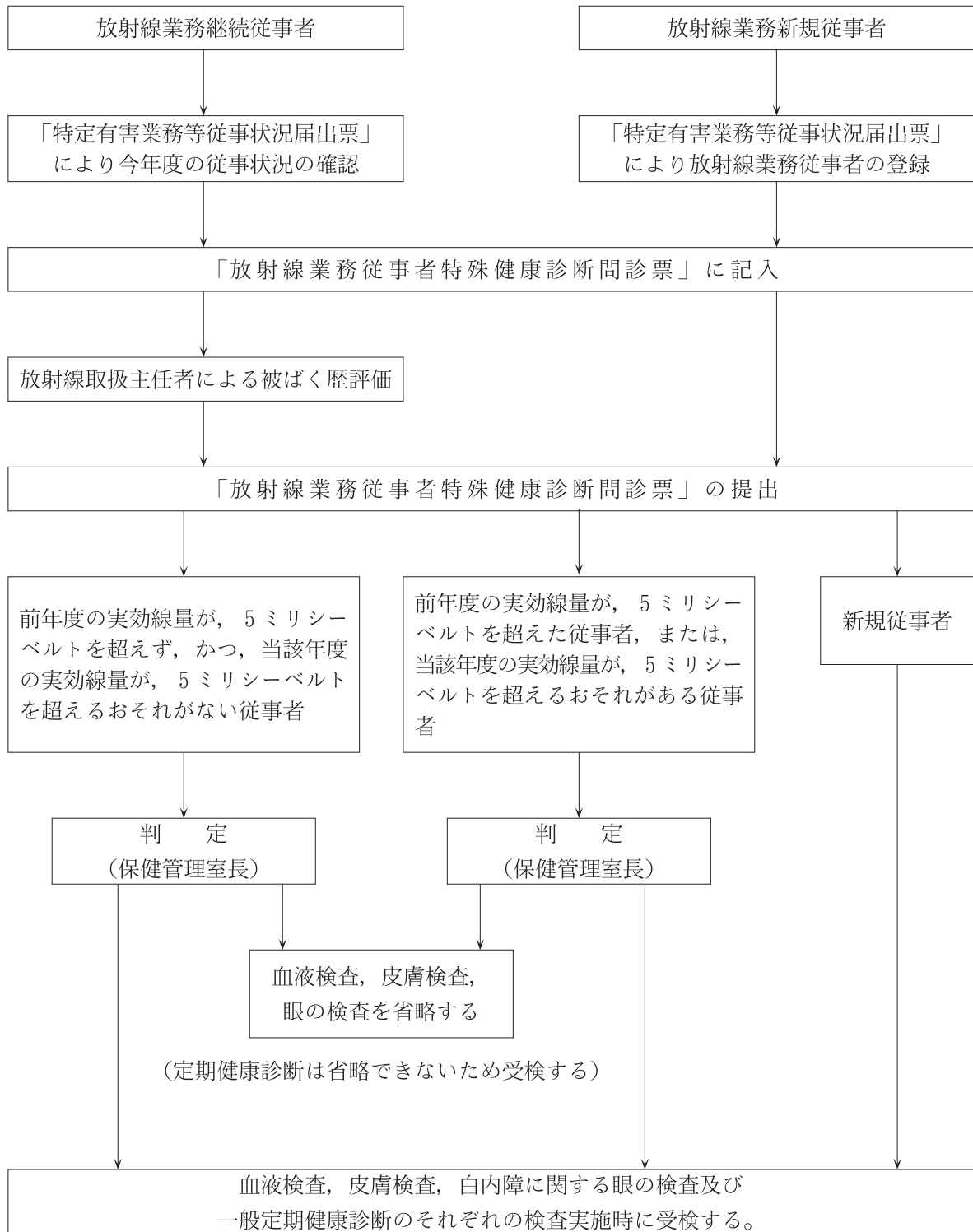
注意

初めて放射線業務を行う者は，上の流れで健康診断を受けるのが本来であるが，下の場合等急ぎ健康診断を受ける必要がある場合は，「放射線を取り扱う学生の特殊健康診断」実施時に受検が可能である。

- ・5月，7月のアイソトープ総合センター主催R I 講習受講等で，上の流れでは間に合わない場合
- ・年度途中で健康診断の受検が必要となった場合

但し，受検の際は職員専用の問診受検票が必要となる。所属する部局の人事担当掛で指定の問診受検票を受け取り持参すること。

健康診断の手続きの流れ【職員】



4. 健康相談と応急処置（学生・職員）

健康相談および応急処置は、身体、精神の2部門に分かれて実施している。精神部門の活動については、次の精神衛生業務で述べ、ここでは、身体健康相談およびその応急処置について記述する。

学生・職員別に、分野別・処置内容別に、月次推移で表に示した。また、東山キャンパスの保健管理室・全学教育棟の保健室および鶴舞キャンパスの保健管理室分室で応急処置を含めた保健業務を行っている。大幸キャンパスの保健管理室大幸分室では応急処置を行っている。

健康相談担当医日割表

	月	火	水	木	金
午前	大西丈二	大西丈二	山本明子	石黒洋	小池晃彦
午後	大西丈二	押田芳治	山本明子	石黒洋	小池晃彦

保健管理室分室（鶴舞）：適宜対応

〔学生、月別〕平成22年度 保健管理室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健康相談	内科	26	54	118	52	25	36	68	101	69	84	44	30	707
	外科	0	0	3	1	2	4	1	2	1	2	0	0	16
	整形外科	2	5	19	10	5	10	6	7	10	8	5	2	89
	皮膚科	1	6	3	8	1	5	4	4	3	3	1	1	40
	眼耳鼻科	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
	耳鼻科	0	4	1	4	0	1	1	1	0	0	0	4	16
	婦人科	0	5	2	5	0	2	2	1	2	3	2	0	24
	脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯科・口腔外科	0	1	1	0	0	1	0	4	3	0	1	0	11
	泌尿器科	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	5
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
計	31	77	147	81	34	59	83	121	89	100	53	38	913	
与薬	70	110	180	126	83	86	104	154	127	128	106	81	1,355	
医療機関への紹介	2	11	15	3	2	8	8	7	7	11	3	2	79	
診断書	0	10	10	4	4	0	13	2	1	16	14	7	81	
検査	血液	0	4	2	0	0	0	0	0	1	14	9	0	30
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	心電図	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	3
	X線	1	0	4	1	0	0	1	1	1	2	1	1	13
	血圧	0	0	0	2	0	0	2	2	2	1	4	4	17
	体重・体脂肪	0	0	4	8	3	1	50	3	31	11	2	4	117
	視力・色覚	0	0	4	3	0	0	0	0	0	1	0	1	9
	聴力(オーディオメーター)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	2	4	15	14	3	1	54	6	35	30	16	10	190	
処置	創傷処置	3	5	36	28	15	20	20	11	13	5	5	2	163
	湿布	2	12	7	2	3	4	5	10	5	5	1	2	58
	その他	1	0	1	7	5	7	1	0	1	4	5	0	32
計	6	17	44	37	23	31	26	21	19	14	11	4	253	
窓口相談	54	46	52	33	30	20	55	55	43	48	48	44	528	
休養室	3	7	10	10	3	0	5	8	1	5	1	2	55	
実験用採血	0	0	4	1	3	0	9	2	0	2	1	1	23	
定期外健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
留学生利用数	0	0	52	21	16	23	33	60	56	78	63	41	443	

「留学生利用数」については6月から実施

〔学生、月別〕平成22年度 保健室（全学教育棟）利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談	身体的相談(内科)	7	16	28	15	3	0	16	10	16	23	2	3	139
	身体的相談(外科)	8	17	39	23	5	8	23	20	18	16	3	7	187
	身体的相談(その他)	1	3	20	5	3	2	4	4	3	4	0	0	49
	メンタル的相談	2	4	7	2	1	0	6	0	3	3	1	0	29
計	18	40	94	45	12	10	49	34	40	46	6	10	404	
処置	創傷処置	4	10	26	9	3	8	8	7	9	12	3	7	106
	湿布	4	6	7	10	2	5	14	12	10	4	0	1	75
	その他	0	2	22	8	0	0	2	1	0	0	0	0	35
計	8	18	55	27	5	13	24	20	19	16	3	8	216	
検査	視力	3	3	8	2	0	0	13	8	0	6	1	0	44
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血圧	0	7	0	2	0	2	17	0	0	13	0	0	41
	身長・体重	0	0	0	2	0	2	17	0	0	13	0	2	36
体組成計	13	19	89	32	18	7	89	25	73	62	24	2	453	
紹介	保健管理室	1	6	5	5	0	0	3	7	6	1	0	1	35
	学生相談室・メンタル	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	6
	学外医療機関	2	4	14	4	5	1	9	4	9	17	0	1	70
計	4	11	20	9	6	1	13	11	16	18	0	2	111	
傷病	正課中	2	10	9	2	0	0	3	2	1	4	1	0	34
	課外活動中	2	5	10	7	0	0	6	1	1	1	0	1	34
ベ	ット休養	3	9	18	7	1	0	8	1	9	5	1	0	62

〔職員、月別〕平成22年度 保健管理室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
健康相談	内科	5	11	25	18	9	23	19	21	20	18	7	14	190	
	外科	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	5	
	整形外科	2	1	2	1	2	2	1	1	1	1	0	2	1	16
	皮膚科	0	0	1	2	1	1	1	1	1	0	1	0	0	8
	眼科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	耳鼻科	0	0	3	0	1	1	0	1	1	0	1	1	1	9
	婦人科	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
	脳神経外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	歯科・口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	泌尿器科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	7	13	32	21	14	28	22	27	23	20	12	17	236		
与薬	14	21	24	24	18	16	32	35	34	30	25	28	301		
医療機関への紹介	1	1	5	2	1	7	5	3	1	3	1	0	0	30	
診断書	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	
採用時健康診断書	0	0	2	4	6	14	4	4	1	18	2	1	56		
検査	血液	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	尿	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3	
	心電図	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	X線	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	血圧	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	
	体重・体脂肪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	視力・色覚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聴力(オーディオメーター)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
計	1	2	2	2	1	2	0	0	0	0	0	0	10		
処置	創傷処置	6	3	2	2	5	2	1	3	2	1	1	0	28	
	湿布	1	0	3	0	0	1	1	2	0	1	1	0	10	
	その他	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	
計	7	3	5	3	5	3	2	6	2	2	2	0	40		
窓口相談	11	4	2	5	7	12	10	8	8	13	8	7	95		
休養室	0	1	1	1	0	0	2	0	0	1	0	6	12		
安全衛生関連の指導	6	3	5	0	4	6	4	3	4	1	2	6	44		
定期外健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

〔職員、月別〕平成22年度 保健室（全学教育棟）利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談	身体的相談(内科)	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	5
	身体的相談(外科)	1	1	1	1	2	1	4	0	3	0	0	0	14
	身体的相談(その他)	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	0	0	7
	メンタル的相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	2	1	2	2	5	1	6	3	2	0	26	
処置	創傷処置	1	1	0	1	2	0	4	0	3	0	0	0	12
	湿布	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	1	1	0	1	2	1	4	0	3	0	0	0	13	
検査	視力	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
	血圧	0	8	18	6	11	13	11	13	10	11	7	6	114
	身長・体重	1	0	3	0	2	1	2	1	5	4	0	0	19
紹介	体組成計	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	0	4
	保健管理室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	メンタル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学外医療機関	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	
ベクトル休養	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3	

〔学生，月別〕平成22年度 保健管理室鶴舞分室・保健管理室大幸分室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	
健 康 相 談	内 科	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	3	
	外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	整 形 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	皮 膚 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	耳 鼻 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	脳 神 経 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	歯 科 ・ 口 腔 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌 尿 器 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	4	
与 薬	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	6	
医 療 機 関 へ の 紹 介	1	0	3	1	0	2	1	0	0	4	0	0	0	12	
診 断 書	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
検 査	血 液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	血 圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	体 重 ・ 体 脂 肪	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	
	そ の 他	1	1	1	0	0	0	1	1	0	0	1	1	7	
計		1	1	1	0	0	0	1	1	1	0	1	3	10	
処 置	創 傷 処 置	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	湿 布	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
	計		1	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	5
窓 口 相 談	0	1	3	0	0	0	0	1	0	2	2	1	10		
ベ ッ ト 休 養	0	0	1	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4		
分室利用（採血、ワクチン等）	117	0	309	213	1	0	63	16	26	201	162	40	1,148		
大 幸 地 区 利 用	2	1	1	1				2						7	

〔職員，月別〕平成22年度 保健管理室鶴舞分室・保健管理室大幸分室利用件数表

月 別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
健 康 相 談	内 科	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	整 形 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	皮 膚 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	眼 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	耳 鼻 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	婦 人 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	脳 神 経 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歯 科 ・ 口 腔 外 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	泌 尿 器 科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
与 薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
医 療 機 関 へ の 紹 介	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	5
診 断 書	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
検 査	血 液	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	尿	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	血 圧	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	体 重 ・ 体 脂 肪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
処 置	創 傷 処 置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	湿 布	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3
	計		1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
窓 口 相 談	0	0	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	4	
ベ ッ ト 休 養	0	0	1	1	0	0	0	1	1	1	0	0	5	
分室利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大 幸 地 区 利 用														0

5. 精神健康（メンタルヘルス）相談業務

学生との面接は、キャンパスの精神健康診断業務としても、また青年期における精神医学あるいは精神健康科学の研究にとっても重要である。

来談者数、延面接回数は表の通りである。大学院生と教職員の相談が最近増加傾向にあることも注目すべきである。都合がつかず他の機関を紹介した例も多数ある。家族や指導教員による学生に関する相談も多くなってきている。精神科医3人となった現在、面接回数は増加しているが、それでも予約の順番が待てないこともあり十分な対応は難しい。内科で心身症的に対応されている留学生も多いと考えられる。健康個人調査において面接を希望した学生を呼出し通知を出したが、待ち切れずに他の医療機関相談機関を訪れている者が相当数いると推定される。

精神科産業医としての業務について述べておく。精神科に関連した疾患で長期に休職している職員が常時十数名いるので、定期的に休職の状況をフォローしている。また長期休職者に対して的確な治療をアレンジしている。また、復職に対しては、細かにフォローすることで復職をスムーズに行えるよう、対応している。

また、もう一つの産業医の業務として、名古屋大学ハラスメントセンターからのリファラーの仕事がある。それは、ハラスメントによってうつ病など精神的な被害を被っている職員の診察を行い、職場に対して人事的なアドバイスを行うことでハラスメント状況の改善に寄与している。

さらに、2009年11月よりメンタルヘルス相談窓口を職員全般を対象にして始めたが、そのため職員の受診が急激に増えている。それに対応するために、心理士によるカウンセリングを行っている。

平成22年度 新患内訳

	統合失調症	妄想性障害	急性精神病	双極性感情障害	抑うつ状態	その他の気分障害	対人恐怖症	その他の恐怖症	不安神経症	強迫性神経症	適応障害	解離障害	心気症	離人神経症	摂食障害	睡眠障害	人格障害	アパシー症候群	その他	計
1年	1	1							1		4	1	1					2	5	16
2年		1									1				1		1	2		6
3年	1				3					1	3				2			3	6	19
4年				1	3				1		4							6	9	24
大学院	2	3		2	6					5	10	1		1		1		10	13	54
その他	1	2			3					1	23	2	2				2		12	48
総計	5 (4)	7 (5)	0	3 (3)	15 (12)	0	0	0	2 (2)	7 (6)	45 (22)	4 (2)	3 (1)	1 (1)	3 (3)	1 (1)	3 (1)	23 (23)	45 (33)	167 (119)

※「その他」は職員、学年が不明な者を含む

※「大学院」は大学院留学生・M・D・OD・PDを含む

※「計」の中で職員を含む項目においては（ ）内に学生のみ的人数を示してある。

平成22年度 受診者総数（学部別）

文	教育	法	経済	情文	理	医	工	農	独立研究科	その他	計
18	8	12	6	6	30	17	59	15	37	104	312

※「その他」は職員を含む。

平成22年度 月別受診者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
120	120	133	131	106	120	122	127	134	135	140	141	1,529

平成22年度 月別面接回数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
234	228	242	236	189	173	225	259	217	217	236	203	2,659

6. 運動実施のためのメディカルチェック

激しい運動を行う時に、身体的要因から生ずる事故をできるだけ少なくする目的でメディカルチェックを行っている。主に、長距離走を対象としているが、各クラブで試合出場に必要な場合などにも応じている。メディカルチェックの内容としては、問診、安静時の血圧、脈拍の測定、および負荷心電図検査である。また、必要に応じ、尿の検査や血液検査も行っている。このほかに、胸部X線検査などの必要と考えられるが、全ての検査を施行できるほどの人的余裕がないので、定期健康診断の成績を判定の参考としている。従って、定期健康診断未受診者についてはメディカルチェックは行っていない。

7. 感染症検査

医学部1年生を対象に感染症（麻疹・風疹・水痘・ムンプス）の抗体価検査を実施し、抗体を有しない者に対しては、医学部附属病院小児科の医師が予防接種を行っている。

医学部3・4年生を対象として、B型肝炎ワクチンの接種および接種前後に抗原・抗体・肝機能検査を実施し、その判定を行っている。（今年より対象を3年生に変更する）

8. 平成22年度産業医名簿

H22. 8. 1 現在

事業場	産 業 医
東 山 地 区	総合保健体育科学センター 教 授 押 田 芳 治 教 授 小 川 豊 昭 教 授 石 黒 洋 准教授 小 池 晃 彦 准教授 津 田 均 准教授 山 本 明 子 情報科学研究科 教 授 宮 尾 克
鶴 舞 地 区 医 学 部	医学系研究科 准教授 市 原 学
鶴 舞 地 区 病 院	総合診療部 総合診療科 講 師 佐 藤 寿 一
大 幸 地 区	保健学科 教 授 平 井 眞 理

保 健 体 育 の 事 業

1. 「健康への道」の発行

教職員・学生の健康やスポーツ活動に対する理解と関心を高め、運動施設の利用の促進や便宜をはかる目的で年間3回発行されている。平成22年度は、104号、105号、106号を発行した。主な記事の表題、担当執筆者は以下の通りである。

	発行日	主 な 記 事	執 筆 者
104	2010. 10. 25	飲酒後のアルコールの行方 サッカーワールドカップ イップス (yips) 人生90年時代の健康への道	石 黒 洋 布 目 寛 幸 西 田 保 大 西 丈 二
105	2010. 12. 3	イギリスの健康・スポーツ事情 -オックスフォードから- 大腸ガンを防ぐ アルトーとグールド スポーツ選手の心と体、そして心理相談	石 田 浩 司 押 田 芳 治 津 田 均 竹之内 隆 志
106	2011. 3. 7	気づくこと 間欠的運動のすすめ 遊歩行者はどこに行ったのか 脂肪肝は侮れない!	山 本 裕 二 片 山 敬 章 古 橋 忠 晃 山 本 明 子

2. 総合保健体育科学センター主管の行事

平成22年度 スポーツ公開講座および施設開放実施状況

学内向け

名 称	対 象	募集 人数	受講 人数	担当責任者	回数	実 施 時 期	場 所
室内プール夜間開放	学生 } 院生 } 教職員	—	2,124 536	池 上 康 男	65回	H22. 4. 1～ 7.22 H22.10. 4～H23. 1.27 H23. 3. 3～ 3.31 (月・木曜日の16:30 ～19:00。ただし、祝 日、冬期休業期間を除 く)	屋内プール
夏期休業中室内プ ール開放	学生 } 院生 } 教職員	—	818 261	池 上 康 男	26回	H22. 8. 2～ 8.31 (月～金曜日の12:00 ～18:00, 土曜日の12: 00～17:00)	屋内プール
テニスコート夜間開 放	学生 院生 教職員	—	—	布 目 寛 幸	55回	H22. 4.12～ 7.22 H22.10. 4～12.27 H23. 1.13～ 1.27 (月・木曜日祝日を除 夏・冬期休業・試験期 間中を除く)	テニスコート

「健康・スポーツ科学」の授業

「健康・スポーツ科学」の授業について

1. ねらいと授業科目

名古屋大学はその学術憲章のなかで、国内外に関わらず人的交流を支える文化理解、人間性の尊重を共有する構成員の育成をねらいとすることを謳っている。卒業後の社会で自ら行動力を以ってリーダーシップを発揮することが求められる名古屋大学の学生にとって、その基盤となる体力と良好な健康状態を生涯にわたり維持することは極めて重要である。

このような状況を鑑み、旧来の基本主題科目「生涯健康とスポーツ」は、平成15年度より全学基礎科目「健康・スポーツ科学」へと名称及び内容が改められ、以下の知識・能力を身につけた人材の育成をねらいとしている。

- 1) 健康・体力の維持増進に必要な正しい知識
- 2) 運動・スポーツの健康・体力の維持増進に対する有効性の理解と、その生涯にわたる実践能力
- 3) 運動・スポーツの実践によって生活を充実させる方法の体得
- 4) 運動・スポーツの実践を通じて、人間関係を構築する基礎となるコミュニケーション・スキルの体得
- 5) 社会環境の変化やストレスに対して柔軟かつ主体的に行動できる能力

2. 授業形態

「健康・スポーツ科学」は主に健康や運動に関する知識の修得を目的とする「講義」と、実践に関する知識や行動能力を身につけるための「実習」で構成される。「講義」と「実習」は互いに独立したものではなく、上記の教育目標を達成するために互いに密接な関係を持つ授業内容となっており、理論と実践の有機的な結合が図られている。

[授業内容]

- 1) 健康と運動・スポーツに関する最先端の科学的知識の修得（講義）
- 2) 生涯にわたる運動習慣を身につけさせるための基礎的能力である体力、運動能力、スキルなどの育成（実習）
- 3) スポーツにおいて自らが主体的、積極的に身体運動に取り組むことによって、科学的知識と論理的思考に基づいた知的な身体運動能力や実践的問題解決行動能力の育成（講義・実習）
- 4) スポーツを通して、チーム・組織における人間関係づくりの基礎を修得（講義・実習）

平成15年度よりこれまでの基本主題科目「生涯健康とスポーツ」における「講義及び実習」と「実技」が全学基礎科目「健康・スポーツ科学」における「講義」と「実習」に改められ、講義は2単位、実習は1単位となった。取得すべき単位については、法学部と工学部を除く全ての学部で講義2単位、実習2単位の計4単位が必修である。法学部は選択制で卒業単位となり、工学部は「講義」または「実習」のいずれかで計2単位が必修である。

3. 「講義」について

1) 時間割編成

平成16年度より各学部ともⅠ期に開講している。学生の授業科目の選択は学生が事前登録を行い、それをもとに電算機上で振り分けた。

2) 開講コマ数

平成22年度の「健康・スポーツ科学」の講義は、16名の専任教員が担当し、1年間に22コマ開講した。

3) ティーチング・アシスタントについて

平成22年度は、ティーチング・アシスタントをつけなかった。

4. 「実習」について

1) 時間割編成

平成22年度は、表1と表2の時間割表ように各学部ともⅠ期とⅡ期に実習が開講された。開講オビ数は前期9、後期9となり、コマ数は前期59、後期61（集中開講のスキー4コマを含む）となった。

前期は7月後半まで実習が行われ、特に屋外種目においては過酷な暑熱下での実習が行われることもあった。しかし、熱中症対策用の測定器や実習を担当する教員の配慮等により、重篤な事態は発生しなかった。また、実習中の怪我についても、特に重傷などの報告はなかった。後期は、第1～第5体育館が耐震改修工事で使用できず、一部の授業実施場所が豊田講堂に変更された。また、雨天時には、屋外種目の一部について附属学校体育館が使用された。

2) 開講コマ数

平成22年度は専任教員（10名、特別研究期間の1名は除く）、非常勤講師（15名）が担当し、1年間に120コマを開講した。

3) 開講科目

健康・スポーツ科学実習は、テニス、サッカー、フットサル、ソフトボール、卓球、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ゴルフ、ラケットスポーツ、スキー、フィットネス、スイミング、太極拳、エアロビクス、アルティメットの16種目を開講した。以上に加えてアダプテッド・スポーツが開講され、合計17種目が開講された。

各種目の授業内容はシラバスに詳しく述べられているが、ここでは本学の特色である集中講義による学外の授業科目（スキー）、さらに健康運動のための授業科目（フィットネス・エアロビクス等）、アダプテッド・スポーツの授業内容についてふれる。

・ 学外で実施する授業科目

スキーなどの野外スポーツは、生涯にわたるスポーツ活動をする上で、近年大きな比重を占めるようになってきている。本学では、スキーの体験や基礎技術の修得を通じて生涯スポーツへの理解と実践力を高め、自らの健康・体力づくりへの動機を促している。スキーは例年同様受講生に人気があった。

・ 健康運動のための授業科目

この科目群は、受講者の体力レベルに応じた効果的なプログラムの実施と、さらに受講者自らがプログラムを組み立てる能力を養成することが目的である。「フィットネス」、「スイミング」、「太極拳」、

「エアロビクス」が開講されている。「スイミング」は、学内温水プールを利用するため年間を通じて開講されている。

- アダプテッド・スポーツ

本学では毎年全学生の1%程度の学生が外傷や疾病により通常の実習の履修が困難となっている。そこでこれらの学生を対象に「アダプテッド・スポーツ」を開講し、保健科学部教員（医師）と体育科学部教員が協力し、面接による医学的指導をもとに個々の症状に応じたトレーニングや軽いスポーツを設定し、積極的で充実した学生生活を送るためのバックアップを行っている。

4) ティーチング・アシスタントの活用

平成22年度は、前期4コマ、後期2コマに1名ずつ、さらにスキーに5名のティーチング・アシスタントを採用した。これらのティーチング・アシスタントは、授業の準備にとどまらず、実際の指導において有意な教育効果をもたらした。授業内容によっては、今後さらに多くのティーチング・アシスタントを活用する方向で検討すべきである。

5. 「実習」の非常勤講師（五十音順）

- 内 田 博 昭（株式会社ファミリ）
- 桶 野 留 美（同朋大学非常勤講師）
- 金 尾 洋 治（愛知県立大学）
- 柴 田 優 子（愛知大学非常勤講師）
- 島 典 広（東海学園大学）
- 下 村 典 子（中京短期大学）
- 水 藤 弘 吏（愛知学院大学）
- 張 成 忠（有限会社桜華）
- 湯 海 鵬（愛知県立大学）
- 富 樫 健 二（三重大学）
- 中 原 かおり（㈱クリエイティブライフサークル）
- 野 中 壽 子（名古屋市立大学）
- 秦 真 人（愛知学泉短期大学）
- 吉 澤 洋 二（名古屋経済大学）
- 吉 田 和 人（静岡大学）

平成22年度 「健康・スポーツ科学」 時間割 (前期)

曜日	月	火	水	木	金
1限					講義8 理医保農情(白)
8:45 10:15					押田 芳治 池上 康男 石黒 洋 西田 保 津田 均 竹之内隆志 小池 晃彦 秋間 広
2限	実習7 医農	実習6 経	実習8 文教情	実習6 保	実習8 理
10:30 12:00	西田 保 新あり 山本 裕二 テニス 布目 寛幸 第一 片山 敬章 陸上 ・下村 典子 新あり ・吉田 和人 第二 島岡みどり/石黒 洋	島岡みどり 蛭田 秀一 佐々木 康 片山 敬章 ・湯 海鷗 布目寛幸/石黒 洋	西田 保 蛭田 秀一 竹之内隆志 布目 寛幸 ・秦 真人 ・榑野 留美 ・水藤 弘吏 片山敬章/押田芳治	西田 保 竹之内隆志 ・吉澤 洋二 ・野中 壽子 ・富樫 健二 池上康男/小池晃彦	陸上 テニス 第一 第五 新あり 小池晃彦
3限	講義8 工学部	講義6 文教経法情(社)	実習8 工I, IV	実習8 理	実習5 法
13:00 14:30	石黒 洋 池上 康男 小池 晃彦 西田 保 山本 明子 山本 裕二 佐々木 康 布目 寛幸	小川 豊昭 山本 明子 島岡みどり 蛭田 秀一 佐々木 康 片山 敬章	山本 裕二 蛭田 秀一 竹之内隆志 布目 寛幸 ・秦 真人 ・榑野 留美 ・水藤 弘吏 佐々木 康/小池晃彦	池上 康男 島岡みどり 山本 裕二 秋間 広 ・金尾 洋治 ・柴田 優子 ・島 典広 蛭田秀一/山本明子	秋間 広 ・吉澤 洋二 ・野中 壽子 ・富樫 健二 竹之内隆志/押田芳治
4限	実習6 工III, V			実習5 工II	
14:45 16:15	西田 保 野球場 島岡みどり 新あり 秋間 広 陸上 片山 敬章 第一 ・内田 博昭 新あり 山本裕二/山本明子	ゴルフ フィットネス サッカー バドミントン バレーボール アダブテッド	佐々木 康 ・金尾 洋治 ・柴田 優子 ・島 典広 秋間 広/山本明子	第一 野球場 テニス 陸上 山本明子	バスケット ゴルフ テニス ソフトボール アダブテッド

実習については、左から担当者、実施場所、種目の順に表示。

平成22年度 「健康・スポーツ科学」 時間割 (後期)

曜日	月	火	水	木	集 中
1限	実習6 経	新トレ テニス 第三/豊 新アリ	太極拳 テニス 卓球 バレーボール フットサル アダブテッド		池上 康男 秋間 広 布目 寛幸 片山 敬章
8 : 45 10 : 15	島岡みどり 山本 裕二 蛭田 秀一 竹之内隆志 片山 敬章 秋間 広/石黒 洋				
2限	実習7 医農	実習7 文教情	実習7 文教情	実習6 保	
10 : 30 12 : 00	西田 保 野球場 第四 新トレ 第三/豊 新アリ テニス テニス アダブテッド	西田 保 陸上 新アリ 野球場 テニス 新トレ 池上康男/押田芳治	フットサル アルティメット バレーボール ゴルフ スイミング フットボール アダブテッド	実習6 保 池上 康男 西田 保 山本 裕二 ・金尾 洋治 ・島 典広 佐々木 康/山本明子	
3限	実習8 理	実習5 法	実習5 法	実習6 工III-V	
13 : 00 14 : 30	西田 保 野球場 新トレ 陸上 テニス テニス アダブテッド	山本 裕二 野球場 テニス 新アリ 第三/豊 島岡みどり/小川豊昭	ラケット テニス バドミントン 卓球 アダブテッド	実習6 保 池上 康男 西田 保 山本 裕二 ・金尾 洋治 ・島 典広 佐々木 康/山本明子	スイミング バドミントン ラケット ゴルフ ソフトボール アダブテッド
4限	実習7 工I-IV	実習5 工II	実習5 工II		
14 : 45 16 : 15	西田 保 野球場 第三/豊 多目的 陸上 新アリ テニス テニス アダブテッド	島岡みどり 布目 寛幸 ・富樫 健二 ・吉澤 洋二 山本裕二/小川豊昭	フィットネス サッカー バドミントン 卓球 アダブテッド		

実習については、左から担当者、実施場所、種目の順に表示。

そ の 他

庶務関係事項

1) 人事異動 (平成 22. 4. 1 ~ 23. 3. 31)

異動年月日	異動後の役職	氏名	異動内容	異動前の役職	備考
H22. 4. 1	センター長	池上康男	昇任	教授	
H22. 4. 1	事務職員	松岡由香	配置換	事務職員	情報文化学部・情報科学研究科会計掛から
H22. 4. 1	主任	川上章子	転出	主任	工学研究科・工学部経理課用度掛へ
H22. 4. 1	特任准教授	大西丈二	配置換	非常勤医員	医学部附属病院から
H22. 4. 1	臨時用務員	調子晴久	採用	技術専門職員	全学技術センター (工学部) から
H22. 4. 1	事務補佐員	本多理恵	採用		
H22. 5. 1	非常勤研究員	中荃みゆき	採用		
H22. 5.17	技術補佐員	清水美佐子	採用		
H22. 9. 1	事務補佐員	小島美雪	採用		
H22. 9. 1	事務補佐員	吉田真由美	採用		
H23. 3.31		大西丈二	退職 (任期満了)	特任准教授	東京大学政策ビジョン研究センターへ
H23. 3.31		松尾聡子	退職	看護師	
H23. 3.31		吉田真由美	退職	事務補佐員	

平成22年度各種委員会委員名簿（学内）

委員会名等	任期	保健科学部	体育科学部	備考
総合保健体育科学センター運営委員会	H21.4.1～H23.3.31	小川、押田	池上、山本	
図書館商議委員会	H21.4.1～H23.3.31	小川		
原子力委員会	H21.4.1～H23.3.31	押田		
安全保障委員会	H21.4.1～H23.3.31	石黒		
動物実験委員会	H21.4.1～H23.3.31	小池		
全学計画・評価担当者会議	H21.4.1～H23.3.31		山本	
研究助成委員会	H22.4.1～H24.3.31		山本	教授
国際交流委員会	H22.4.1～H24.3.31		布目	
国際関係施設委員会	H22.4.1～H24.3.31	小池		
全学教育企画委員会	H22.4.1～H24.3.31		蛭田	教授
ハラスメント相談所長		石黒 保健管理室長		保健 役職指定
情報公開・個人情報保護審査委員会	H22.4.1～H24.3.31		秋間	
男女共同参画推進専門委員会	H22.4.1～H24.3.31		島岡	
高等研究院会議	H22.4.1～H24.3.31	山本		
利益相反マネジメント専門委員会	H22.4.1～H24.3.31	小川		
蔵書整備アドバイザー	H22.4.1～H25.3.31	山本	竹之内、片山	3年
発達心理精神科学教育研究センター運営委員会	H21.4.1～H23.3.31	小川		
全学教育棟等の改修工事に関する検討委員会	H22.4.1～H24.3.31		池上	2年
バイオセーフティ委員会	H16.4.1～	押田		
大学文書資料室運営委員会	H21.4.1～H23.3.31		蛭田	講師以上
環境安全衛生管理室運営委員会	H22.4.1～H24.3.31	石黒		
自然災害対策検討WG	H22.4.1～H24.3.31	小池		
教養教育院統括会議	H22.4.1～H23.3.31		蛭田	
教養教育院教務委員会	H22.4.1～H23.3.31		蛭田	
教養教育院健康・スポーツ科学部会	H22.4.1～H23.3.31	石黒、山本	蛭田、島岡、 竹之内	
教養教育院評価専門委員会	H22.4.1～H23.3.31		蛭田	
教養教育院統括部基盤科学部門及び基盤科学部会	H22.4.1～H23.3.31		蛭田	
ハラスメントの苦情に関する「部局受付窓口担当員」	H21.4.1～H23.3.31		島岡	
SCS事業実施要項による共通教育棟子局運営委員会	H22.4.1～H24.3.31	小池		
社会連携推進担当	H22.4.1～H24.3.31		布目	
交通安全委員会代議員	H22.4.1～H24.3.31		布目	
個人情報保護管理者	H21.4.1～H24.3.31	押田		
情報セキュリティ組織連絡協議会	H21.4.1～H23.3.31	(小池)	山本	
個人情報保護管理者	H21.4.1～H22.3.31	押田		
情報セキュリティ組織連絡協議会	H21. . ～H22.3.31	(小池)	山本	

職指定委員会（センター長）

1. 教育研究評議会
2. 部局長会
3. 男女共同参画推進委員会
4. 組換えDNA実験安全委員会

職指定委員会（保健管理室長）

1. 環境安全衛生推進本部会議・環境安全衛生推進本部打合せ会
2. 安全衛生委員会
3. ハラスメント防止対策委員会
4. 新型インフルエンザ対策委員会

指定以外

1. ホームカミングデイ部局代表者 布目
2. 研究業績のとりまとめグループの委員 山本(裕)（評価・企画委員が兼任）

学生相談総合センター企画運営委員会 H21. 4. 1～H23. 3. 31 小川

保健科学部

排水管理責任者	H21. 4. 1～H24. 3. 31	押田
メンタルヘルス研究協議会	H21. 4. 1～H24. 3. 31	津田
親と子供の診療部運営協議会	H16. 4. 1	小川
修士運営委員会	H21. 4. 1～	押田

平成22年度各種委員会委員名簿（センター内）

委員会名等	保健科学部	体育科学部	備考
センター長		池上	
副センター長	押田		
科学部主任	押田	佐々木	
教務委員会	石黒、山本	◎蛭田、島岡、竹之内、	
予算委員会	◎石黒、押田	佐々木、池上	
編集委員会	石黒、山本	◎西田、片山	紀要、コロキウム
広報委員会	小池、山本	◎島岡、秋間	健康への道、年報
図書委員会	◎小川、山本	島岡、西田	
特昇委員会	小川、石黒	◎蛭田、佐々木	
評価・企画委員会	◎石黒、小川、小池	山本、秋間、片山	
NICE部局運営委員会	小池	◎山本、池上	
ヒトを対象とする研究審査委員会	石黒、小池	◎西田、秋間、布目	山本(保健科学部) 動物の場合追加
交通対策委員会	大西	◎蛭田	
保健管理室スタッフ委員会	◎押田、山本、古橋		
運動施設委員会		◎布目、佐々木、片山	
環境管理担当教員	押田		
男女共同参画推進検討委員会	山本	島岡	
安全衛生委員会	◎石黒		掛長・市橋

保健管理室長	押田（H21.4.1～H23.3.31）	
--------	----------------------	--

国立大学法人保健管理施設等協議会	押田		
全国大学体育連合		山本	
教育発達科学研究科担当委員 （☆入試委員）		◎☆西田、島岡、☆片山	

◎は、委員長を示す。

保健科学部

メンタルヘルス研究協議会	H22.4.1～H23.3.31	津田
親と子供の診療部運営協議会	H21.4.1～H23.3.31	小川
医学系研究科国際交流委員会	H16.4.1～	小川
医学系研究科教育委員会		石黒
医学系研究科修士運営委員会		石黒
医学系研究科運営委員会		押田

※健康白書は石黒教授が担当

2) 外国出張及び海外研修旅行（平成22年4月1日～23年3月31日）

官 職	氏 名	渡 航 目 的	渡 航 先 及 び 期 間	備 考
准 教 授	布目 寛幸	15th Annual Congress on European College of Sports Science において研究発表および研究資料収集を行う	Adam & Eve Hotels, Belek - Antalya / Turkey İstanbul大学, Eminönü, 34452 İstanbul / Turkey 平成22年6月22日～平成22年6月29日	科学研究費補助金
准 教 授	片山 敬章	第57回アメリカスポーツ医学会大会での研究成果発表および共同研究打ち合わせ	Baltimore Convention Center, One West Pratt Street, Baltimore, Maryland 21201 平成22年5月29日～平成22年6月6日	科学研究費補助金
准 教 授	秋間 広	アメリカスポーツ医学会での成果発表と資料収集	アメリカ・メリーランド州・バルティモア市 バルティモアコンベンションセンター 平成22年5月29日～平成22年6月7日	運営費交付金
助 教	古橋 忠晃	①日仏共同研究打ち合わせ ②フランス国立図書館での資料収集	①名古屋大学ヨーロッパセンター (Milchstr. 3/3a 79098 Freiburg ドイツ) ②Bibliothèque nationale de France, (quai François Mauriac 75013 Paris, フランス) 平成22年6月24日～平成22年6月30日	科学研究費補助金
教 授	小川 豊昭	①ポルトガル精神分析協会研究打ち合わせ 7月19日から21日 ②Conferece 出席および発表 7月22日から25日	①ポルトガル精神分析協会 ②Tri Regional Clinical Conference EPF- NAPsaC-FEPAL Clinical (Hotel Cascais Mirage Av. Marginal No 8554.P-2754-536 Cascais, Portugal) 平成22年7月17日～平成22年7月27日	科学研究費補助金
教 授	西田 保	スポーツ行動の動機づけと自己観に関する国際比較の研究打合せ	York St John University (Lord Mayor's Walk, York, United Kingdom) Loughborough University (Loughborough, Leicestershire, United Kingdom) 平成22年8月17日～平成22年8月24日	科学研究費補助金
教 授	佐々木 康	第18回 ヨーロッパスポーツマネジメント学会出席	プラハ、チェコ (Clarion Congress Hotel, Freyova 33 Prague 9.) 平成22年9月14日～平成22年9月20日	国立スポーツ科学センター
助 教	古橋 忠晃	日仏ひきこもり共同研究合同症例検討会	Université Paris Descartes 45 rue des saints pères 75006 Paris, FRANCE 平成22年9月19日～平成22年9月25日	科学研究費補助金
准 教 授	片山 敬章	Oxford University, Brunel University における共同研究打ち合わせ	Sherrington Building, Parks Road, Oxford, OX1 3PT, UK, Uxbridge, Middlesex, UB8 3PH, UK, 平成23年2月7日～平成23年2月13日	寄附金
教 授	石田 浩司	「低酸素及び運動が生体に及ぼす影響について」 名古屋大学特別研究期間（サバティカル）を利用し、 オックスフォード大学医科学部で長期研究に従事するため	イギリス、オックスフォード市 オックスフォード大学医科学部 生理学・解剖学・遺伝学部門 平成22年4月3日～平成23年3月18日	寄附金 (一時帰国)
教 授	西田 保	科研プロジェクトの研究打合せ	The University of Western Australia (35 Stirling Highway, Crawley, Perth, Western Australia 6009 Australia) 平成23年2月16日～平成23年2月22日	科学研究費補助金
教 授	石黒 洋	Gordon Research Conference (Salivary Gland and Exocrine Biology) に 参加し研究成果を発表するため	米国テキサス州ガルベトン Hotel Galvez 平成23年2月6日～平成23年2月12日	先方負担
助 教	古橋 忠晃	1) 日仏ひきこもり共同研究フランスチームとのディスカッション (具体的な研究について、ケース検討など) 2) 研究調査（アンケートなど）を依頼する施設の訪問など	Université Paris Descartes 45 rue des saints pères 75006 Paris, FRANCE 平成23年3月2日～平成23年3月6日	科学研究費補助金

あ と が き

総合保健体育科学センターの2010年度（平成22年4月－平成23年3月）の保健管理業務、センター事業、「健康・スポーツ科学」の授業についてまとめた、総合保健体育科学センター年報第33号をお届けします。2010年度の人事面においては、平成22年4月に大西丈二特任准教授を迎えましたが、平成23年3月31日をもって東京大学政策ビジョン研究センターへ異動しました。平成23年4月よりは、尾崎信暁特任准教授が就任しています。

2010年には、上海万博、南アフリカワールドカップ、小惑星探査機はやぶさの帰還、そして名古屋での生物多様性条約締結国会議など、様々なことがありました。しかし、平成23年3月11日14時46分に起こった東日本大震災と、福島原発事故のインパクトはあまりにも大きいものでした。私は保健管理室において、地震のゆれにやっと気がつく程度でしたが、テレビに映る津波に飲み込まれる自動車や人の映像には、この世の出来事かと目を疑いました。地震直後の原発事故の社会不安は少し落ち着きましたが、世界では暴動やデモが続いており、経済も不安定でまさに激動の時代を迎えています。

さて、このような社会状況の中でこそ、健康に対する意識を高く維持することが大切です。最近では、原発問題をうけ、放射線の影響、特に発癌との関連が問題になっています。放射線は、医療ではその利用が有益な状況において、一般の放射線被曝許容量を超えても使用されてきました。しかしながら、その危険を意識せずに、安易に検査がなされてきたことも否定はできません。米国では、携帯電話の放射線と脳腫瘍との関連について話題になっており、世界保健機関がその可能性を示しました。自分の健康については、自分で判断して守る必要があります。一方、「メタボ」への関心は数年前と比較するとだいぶ低下している気がします。しかし、「特定検診」は3年目を迎えており、保健管理室でも保健師が中心になって指導にあたっています。また、2007年の麻疹、百日咳の学生間での集団感染や2009年の新型インフルエンザの流行以降は、感染症は大きな話題にはなっていませんが、エイズ患者が日本でも確実に増加している事実に向け、新たな感染症の流行に備える必要があります。

最近の保健管理業務に関して問題となっている点は、留学生の健康相談と、メンタルヘルスに関する相談の増加が挙げられます。グローバル30の開始とともに、留学生数はさらに増加し、健康相談の過半数をしめる状況です。また、メンタルヘルスについても、保健管理室の3名の医師の予約は、パンク状態になっています。これらの業務は、保健管理業務に留まらず、大学と連携し対策を講じる必要がある重要な問題です。

このように、総合保健体育科学センターには大学と社会にかかわる大きな責任があり、健康な生活が続けられるよう体育と保健の両面において、貢献していくことが使命だと考えています。

（2011年11月 小池晃彦）

平成23年11月30日

編集兼発行	名古屋大学 総合保健体育科学センター 名古屋市千種区不老町 電話 789-3946 (ダイヤルイン)
印刷所	品川プロセス印刷株式会社 名古屋市東区東片端町52番地 電話 931-6741

THE ANNUAL REPORT
OF
THE RESEARCH CENTER OF HEALTH,
PHYSICAL FITNESS AND SPORTS
NAGOYA UNIVERSITY

2010
(Volume 33)